

令和 6 年度(2024 年度)

事業報告書

 **社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会**

目 次

◎事業運営における重点目標の結果	1
【事業区分：社会福祉事業】	
I 法人本部拠点区分	4
1 法人拠点事業	4
II 老人福祉センター拠点区分	11
1 老人福祉センター事業	11
III 福社会館拠点区分	12
1 小地域福祉活動支援事業	12
2 ボランティアセンター事業	17
3 援護事業	23
4 子育て援助活動支援事業	25
IV 平塚栗原ホーム介護拠点区分	27
1 日常生活自立支援事業	27
2 介護に関する入門的研修事業	28
3 特定相談支援事業	28
4 生活介護事業	29
V 豊田分庁舎拠点区分	32
1 地域子育て支援拠点事業	32
VI 暮らしサポート拠点区分	33
1 生活支援事業	33
2 貸付事業	33
3 生活困窮者自立相談支援事業	35
【事業区分：公益事業】	
I 福社会館拠点区分	37
1 介護者支援事業	37
II 平塚栗原ホーム拠点区分	39
1 法人後見事業	39
2 居宅介護支援事業	40
3 地域包括支援センター事業	41
4 成年後見制度利用支援事業	44
5 高齢者権利擁護応急的事務管理事業	45
6 在宅医療・介護連携推進事業	45
7 システム会議運営事業	47
【事業区分：収益事業】	
I 福社会館指定管理拠点区分	50
1 福社会館運営事業	50
II 平塚栗原ホーム指定管理拠点区分	52
1 平塚栗原ホーム運営事業	52
◎別表1 社会福祉基金事業一覧表	53
別表2 年末たすけあい配分事業一覧表	55

◎令和6年度事業運営における重点目標の結果

1. 相談支援体制の強化

平塚市社会福祉協議会（市社協）には、福祉領域に留まらない地域生活課題全般に対応できる総合相談体制が求められています。医療や法律分野等とのネットワークを活かし、体制の強化を図ります。

市社協内部で相談に従事する職員のスキル向上、部署間での情報共有等連携を密にし、どこの部署においてもいかなる相談にも乗る「断らない相談支援」の窓口を掲げ、相談者が必要な支援に繋がるよう努めます。

【重点目標の結果】

社協内で相談業務に関わる部署の連携を強化し、相談体制を強化する目的で相談業務連絡会を6回実施しました。このことにより、包括的な支援体制について学ぶとともに部署同士で連携をとりながらケース検討しました。

個別支援においては、支援者交流会を実施し、地域住民やボランティアグループ、NPO団体と連携して支援するネットワークづくりを強化しました。

2. コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの活動推進

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応が難しい困りごとについて、地域住民や行政、関係機関と連携しながら解決を目指します。さらに、そこから見えてきた地域課題の解決策を地域住民と一緒に模索し、誰もが安心して暮らせる地域づくりと仕組みづくりを推進します。

平塚市が推進する重層的支援体制づくりにおいても、参加支援とアウトリーチ等を通じた継続的支援で連携していきます。

【重点目標の結果】

大学や企業等関係団体と連携し、団地のコミュニティづくりや地域と障がい者施設の見守り体制の構築に向けた体制づくりを始めました。さらに、行政や事業所等の福祉関係者をはじめとした支援者交流会に出席し、関係団体とのネットワークを強化しました。

また、地域で複雑化・複合化したケースが増える中、本人のSOSだけでなく、地域や関係者からの情報をもとに、積極的にアウトリーチを行いました。既存の制度やサービスだけでなく、地域のサロンや福祉村、NPO団体、ボランティアグループの活動にもつなげました。

3. 子育て支援のプラットフォーム

行政や子育て支援団体等と構築している「子ども・子育て支援ネットワーク」の活動を継続し、推進委員会、部会、各種プロジェクト等による様々な企画や交流会を行います。参加団体が増加するよう、ネットワークを引き続き強化していきます。

【重点目標の結果】

子育て支援のプラットフォーム構築を目的として、行政や子育て支援者とネットワークづくりに向けて会議を開催しました。また、サロン運営団体を対象に子育て世帯や子育て支援者に向けてSNSを活用した情報発信を行う講座を開くほか各種プロジェクトを実施しました。

アンケートプロジェクトでは、広報啓発を目的として七夕まつりに参加し、子どもたちの願い事を集め、飾りを作成しました。さらに、アンケート結果に基づきワークショップやカフェを開催しました。

4. 生活困窮者への支援の充実

くらしサポート相談（生活困窮者自立相談支援事業）を主とする相談支援と並行して、物価高騰による困窮状態の世帯が増えることが懸念されることから寄付物品受け入れと配分等、関係機関と連携して自立を支援します。

【重点目標の結果】

フードバンクや企業等関係団体より寄付物品を受入れ、何らかの理由で公的給付を受けられない生活困窮者へ食材や物資を126件配分しました。（昨年度116件）

5. 企業等への地域貢献活動支援

企業等で取り込まれる寄付やボランティア活動などの地域貢献活動がコロナ後から活発となりつつあります。企業等の特性を地域や地域福祉活動等に活かせるよう支援します。

賛助会員への加入促進のほか、企業等に向けた福祉学習の機会を提供します。

【重点目標の結果】

コロナ禍終息後、企業等からの物品寄付やボランティア活動等の地域貢献活動が増加しました。寄付された物品は、子ども食堂や学習支援団体、町内福祉村等関係団体へ配分しました。

福祉学習の機会提供では、地域や企業等を対象に、高齢者・障がい者の疑似体験等の出張ボランティアスクールを積極的に行い、福祉への理解促進につなげました。

6. 災害時支援体制の強化

平塚市が地震や風水害などで被災地となった場合に備え、災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営できるよう訓練を継続し、災害ボランティア登録やニーズ調整のICT化を進めます。また、関係機関との連携強化と連携団体の拡充に努めます。

災害ボランティア活動への関心を深め、住民相互の共助など安心安全や地域社会づくりを目指します。

【重点目標の結果】

台風10号の影響により初めて災害ボランティアセンターを立ち上げました。災害ボランティアを受け入れ、被災者に対しいち早く復興支援を行いました。（ボランティア活動者延べ172人）

また、例年実施する災害ボランティアセンター設置運営訓練（関係団体50人、地区社協部会40人、登録ボランティア23人）のほか、平塚市総合防災訓練や市主催の自主防災組織研修会等外部へ協力・参加することで、関係団体との連携の強化を図りました。

事業区分：社会福祉事業

I. 法人本部拠点区分

1. 法人拠点事業

(1) 役員等会議

ア. 正副会長会議（1回）

次年度の事業計画及び予算案を理事会に提出するための内容確認を行った。

開催日 3月4日(火)

イ. 理事会（定数11人・4回）

法人運営に関する諸議案を議決した。

開催日 6月3日(月)、9月10日(火)、12月10日(火)、3月18日(火)

ウ. 監事監査（定数2人・1回）

令和5年度を対象とした事業報告及び決算の監査を行い、監査報告を作成した。

開催日 5月23日(木)

エ. 定時評議員会（定数25人・1回）

理事会から上程された令和5年度事業報告及び決算について審議し、原案どおり承認した。

開催日 6月21日(金)

オ. 臨時評議員会（定数25人・3回）

理事会から上程された議案を決議した。

開催日 9月26日(木)、12月19日(木)、3月27日(木)

カ. 評議員選任・解任委員会（定数5人・2回）

理事会から推薦された評議員候補者について審議を行い選任した。

開催日 6月3日(月)、9月17日(火)

キ. 役員研修

本会役員の社会福祉に関する活動を活発にし、地域福祉の課題に取り組み、支援を必要とする者に積極的に福祉サービスを提供するため、現状の課題を理解することを目的として実施した。また、保護司会と連携し、再犯防止について理解し、地域共生社会実現の一助とした。

開催日 4月16日(火)

場所 横浜刑務所視察見学

人数 14人（理事8人、監事1人、評議員1人、職員4人）

(2)事務局運営

ア. 正会員と会費

会員区分		会員数	金額 (円)
1号会員	地区社会福祉協議会	23	153,300
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	78,600
4号会員	保護司会	1	13,200
5号会員	社会福祉施設	149	422,000
	(法人)	(34)	(102,000)
	(施設)	(89)	(267,000)
	(地域作業所)	(26)	(53,000)
6号会員	当事者団体	11	33,000
7号会員	社会福祉活動団体	14	42,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	2	-
合 計		228 件	753,100 円

イ. 賛助会員と会費 23 地区(300 円未満の協力会員を含む)

55,319 件 17,461,408 円 1 件あたり平均 315 円

(うち、特別賛助会員会費 1 口 5,000 円 138 件 730,000 円)

	件数	賛助会費(円)	特別賛助 会員件数	特別賛助 会員会費(円)	合計(円)
富 士 見	3,608	1,107,450	0	0	1,107,450
崇 善	2,621	600,400	17	85,000	685,400
松 原	1,638	500,150	1	5,000	505,150
港	3,080	972,500	25	125,000	1,097,500
花 水	3,172	987,901	0	0	987,901
なでしこ	2,205	660,000	0	0	660,000
八 幡	1,459	442,850	0	0	442,850
真 土	1,434	593,050	0	0	593,050
四 之 宮	2,408	747,660	31	170,000	917,660
中 原	2,930	892,030	0	0	892,030
南 原	1,200	360,000	0	0	360,000
松 が 丘	1,782	508,950	1	5,000	513,950
豊 田	1,162	324,500	0	0	324,500
田 村	2,918	875,400	30	175,000	1,050,400
大 神	1,003	539,300	0	0	539,300
横 内	2,265	606,000	0	0	606,000
城 島	894	475,200	0	0	475,200
岡 崎	2,644	793,200	31	155,000	948,200
金 田	2,500	717,250	0	0	717,250
土 沢	1,178	353,900	2	10,000	353,900
旭 南	4,422	1,178,200	0	0	1,178,200
旭 北	4,586	1,275,367	0	0	1,275,367
金 目	4,072	1,220,150	0	0	1,220,150
合 計	55,181	16,731,408	138	730,000	17,461,408

ウ. 企業賛助会員会費（市内の企業、事業所等の会員）
1口 5,000円 53社 75口 375,000円

エ. 社会福祉士相談援助実習受入れ 延べ6人（64日間）
・ 神奈川社会福祉専門学校 2人（32日間）
・ 東海大学 4人（32日間）

オ. 職員対象自主研修

本会の使命である『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進』のためのコミュニティワークの実践を目指し、職員の人材育成とスキルアップ、ガバナンスの強化、マネジメント能力向上を目的に研修を実施した。

対面方式の研修に加え、学ぶ時間と場所を選択しやすい動画視聴を取り入れた。

5講座 参加人数 141人

	研修名（対象）	日程	参加人数
1	コンプライアンス・ガバナンス研修（班長以上）	12月16日（月）	1人
2	情報セキュリティ研修（班長以上）	随時	16人
3	ハラスメント防止研修、人権研修（全職員）	11月19日（火）	88人
4	メンタルヘルス研修（班長）	1月17日（金）	21人
5	個人情報取り扱い研修、接客マナー・モラル向上研修（全職員）	3月17日（月）	15人

カ. 後援・協賛事業

次の事業に、後援・協賛した。 22件

	事業・行事	申請団体
1	ひらつかオレンジフェス	(一社)日本音楽医療福祉協会
2	ハッピードリームサーカス湘南・平塚公演	(株)テレビ神奈川
3	平塚市子どもの家自主事業「科学マジックショー」	平塚市青少年課
4	第27回湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティー公演	湘南平塚福祉芸能実行委員会
5	福祉の仕事 就職相談会 in 平塚	(福)神奈川県社会福祉協議会
6	第22回湘南説法会	平塚市仏教会
7	第60回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	平塚市老人クラブ連合会
8	2024年度湘南地区福祉施設連絡会 シンポジウム	湘南地区福祉施設連絡会
9	第71回神奈川県社会福祉大会	(福)神奈川県社会福祉協議会
10	地域の事例にみる成年後見のあり方	(特非)NPO 法人成年後見湘南
11	2024 障がい者の日のキャンペーン「ともに生きよう」	平塚市障がい者団体連合会
12	2024 浅間祭	浅間祭実行委員会
13	第52回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	平塚市老人クラブ連合会
14	「あらためて発達障がい～実力を発揮するために～」	すばる・かたつむり
15	注文を間違える陽だまりのレストラン	ひらつか地域介護システム会議 グループホーム・小規模多機能連絡会
16	令和6年度市民健康講座（平塚市医師会・神奈川県医師会 共催）	(一社)平塚市医師会
17	2024 フォト四季 写真展	フォト四季

	事業・行事	申請団体
18	令和6年度災害に関する市民公開講座（平塚市医師会・神奈川県医師会 共催）	（一社）平塚市医師会
19	第54回ゆめクラブ湘南平塚「趣味の作品展」	平塚市老人クラブ連合会
20	子どもの「今」を支え、「希望ある未来」へつなげる市民活動応援フォーラム～『無料学習支援活動から地域で支え合うネットワークづくりを考える』	（公財）かながわ生き生き市民基金
21	『障害のある子、ひきこもりの子の「親亡きあと」～「親あるあいだ」の準備』	すばる
22	第21回湘南ひらつかマジシャンズ発表会	湘南ひらつかマジシャンズ

キ. 事故発生報告 合計 5件

- ・利用者
 - ・福祉会館利用者の体調不良による救急搬送 1件
 - ・生活介護事業コロナクラスターによる休業 1件
- ・職員事故
 - ・生活介護事業職員の業務中転倒骨折による休業 1件
 - ・計画相談事業職員の訪問中交通事故による休業 1件
- ・トラブル
 - ・ひとり親世帯支援事業 参加者 1件

ク. 苦情申し立て 0件

ケ. 情報公開 申請件数0件、公開0件

(3) 広報宣伝事業

ア. 福祉だよりひらつか発行

広報誌を6回発行し、福祉に関する普及啓発、情報発信を行った。様々な福祉事業を紹介して、地域福祉及びボランティア活動の推進等を図った。（自治会回覧方式の他、公共施設への配架により各号12,000部発行）

発行月	5月	第155号	7月	第156号	9月	第157号
	11月	第158号	1月	第159号	3月	第160号

イ. 顕彰（敬称略）

（ア）社会福祉功労者表彰式典

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、社会福祉関係功労者の表彰式典を行った。

開催日 11月24日（日）

場 所 平塚市中央公民館 4階小ホール 参加者 88人

・平塚市社会福祉協議会会長表彰（49人）

地区社会福祉協議会	田村里美	上野順子	森口明男	
民生委員児童委員	橘川尚子	小山明美	相馬江梨子	藤井享子
	山本登美子	川野春美	荒木學	田中千恵子
	横田佐知子	小川達久	三宮美恵子	西澤鏡子
	野村まゆみ	山本保男	小室修二	加藤力
	原田美登理	小笠原美奈子	森百合子	和田守兄
	小室次男	鈴木恒二	浦田幸子	福原好子
	菅原勝史	蛭子直美	寺田育子	中山裕史
	荒井俊行	高津茂	久永誠	石井久
	辻村南海子	眞壁隆芳	太田朝子	加藤維三雄

- | | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------|-------|-------|
| | 篠崎タカ子 | 中谷由美子 | 山本照子 | 市川宏子 |
| | 齋藤あや子 | | | |
| 保護司 | 相原勝男 | 長尾大龍 | 松日楽良樹 | |
| 当事者団体 | 見留千枝子 | | | |
| ボランティア | 小橋恵子 | | | |
| ・平塚市社会福祉協議会会長感謝（19人・2団体） | | | | |
| 地区社会福祉協議会 | 小川誠 | 笹本弥生 | 田邊かおる | 山口美代子 |
| | 山田憲子 | 坂下美枝子 | 加藤悦子 | 縄田美知子 |
| | 野田由紀子 | 森谷しのぶ | 土田紀子 | 石川隆嗣 |
| | 井上律子 | 山本三江 | 石川真理子 | |
| ボランティア | 細川諭 | 福山りか | 奥山宏 | 豊原幾久栄 |
| | 精神保健福祉ボランティアグループ こんぺいとう | | | |
| 社会福祉活動団体 | 湘南 JRC | | | |
| ・平塚市長表彰 自立支援功労者（1人） 小川弥生 | | | | |

(イ) 神奈川県社会福祉大会

11月7日（木）県立音楽堂において次の方々が顕彰された。

- ・神奈川県知事表彰（1人）
 - ボランティア 柴尾淳子
- ・神奈川県社会福祉協議会会長表彰（1団体 82人）
 - 平塚市民生委員児童委員協議会
 - 荒井俊行 荒木學 石井久 市川宏子 浦田幸子 蛭子直美
 - 太田朝子 小笠原美奈子 小川達久 加藤維三雄 加藤力 川野春美
 - 橘川尚子 小室修二 小室次男 小山明美 齋藤あや子 佐藤洋子
 - 三宮美恵子 篠崎タカ子 菅原勝史 鈴木恒二 相馬江梨子 高津茂
 - 田中千恵子 辻村南海子 寺田育子 中谷由美子 中山裕史 西澤鏡子
 - 野村まゆみ 原田美登理 久永誠 福原好子 藤井享子 眞壁隆芳
 - 森百合子 山本照子 山本登美子 山本保男 横田佐知子 和田守兄
 - 里親
 - 磯崎雅美 磯崎優子
 - 民間社会福祉事業所
 - 大石哲 城所康男 寺澤亜樹子 池田慎一 石黒彰 金田万紀子
 - 佐々木典子 今野達郎 柳知里 向井めぐみ 佐藤直子 佐藤友香
 - 杉田弥生 守泉清美 遊佐俊徳 岡田菜生 小澤実智子 栗山将也
 - 相澤君子 石川幸央 菊本明美 山口真里子 佐藤洋子 田中正江
 - 直江雄一 萩原治子 宮腰暢子 井田ゆかり 名取川篤 畠山由紀
 - 平川雅彦 山崎ひとみ 古尾谷一宏 神清 白井遼太郎 玉木由美子
 - 津山功次 渡邊智美
 - 優良地区社会福祉協議会 旭南地区社会福祉協議会
- ・神奈川県社会福祉協議会会長感謝（3人）
 - 民間社会福祉事業所
 - 市川洋子 加藤順子
 - 県立子ども自立生活支援センター
 - 吉田信二郎
- ・共同募金功労者表彰・感謝（6人）
 - 神奈川県知事表彰 小原公一 高田哲也
 - 神奈川県共同募金会会長表彰 倉田良行 坂本雅之 佐藤廣保
 - 中央共同募金会会長表彰 秋山博

(ウ) 全国社会福祉協議会会長表彰

神奈川県社会福祉協議会の推薦により次の本会職員が表彰された。
能 條 仁 美 羽 太 鎮 雄

(4)社会福祉展

本会の会員である社会福祉施設等を利用している方々の作品展示を通じ、より多くの市民に社会福祉について理解を深めていただくことを目的に開催した。

開催期間 10月17日(木)～10月21日(月) 5日間

出展施設 47施設 内訳：高齢者入居施設・デイサービスセンター12、
障がい者施設14、保育園21

来場者数 511人(うち施設の見学 延べ23施設)

(5)委員会

ア. 総合企画委員会(委員10人)

既存事業の評価とともに中期経営計画の検討を行う。

未開催

イ. 総合企画委員会小委員会評価委員会(委員6人)

小委員会として事業評価及び中期経営計画策定の検討を行う。

未開催

ウ. 広報委員会(委員8人) 未開催

エ. 平塚市地域福祉推進懇話会(委員11人) 開催日 8月29日(木)

オ. 苦情解決第三者委員会(委員3人) 未開催

(6)部会活動推進事業

ア. 社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成した。

5部会 合計 420,000円

内訳：地区社協部会 60,000円 自治会部会 18,000円

民生委員部会 54,000円 保護司部会 27,000円

福祉施設部会 261,000円(運営費81,000円+職員研修費補助180,000円)

イ. 神奈川県社協の委託事業として「地域ネットワーク強化事業」を実施した。

開催日 3月6日(木)

場所 サンライフガーデン4階 芙蓉の間

参加者 15法人 29人

内容 災害時の社会福祉法人間の連携に向けた情報交換

(7)基金管理事業

ア. 平塚市社会福祉基金

・受入件数及び受入額

社会福祉基金設置以後の累積受入件数及び受入額については下表のとおり

区分	昭和56年度～前年度		当年度		受入額	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市拠出金	8	400,000,000	—	0	8	400,000,000
寄付金	9,632	635,844,409	53	2,059,135	9,685	637,903,544

合計	9,640	1,035,844,409	53	2,059,135	9,693	1,037,903,544
----	-------	---------------	----	-----------	-------	---------------

※受入額のうち 60,033,310 円は小泉基金

・社会福祉基金の造成と運用

平成27年度からは、受け入れた寄付金を直接事業費に充てている。なお引き続き国債、地方債等で運用している。 参考資料：「社会福祉基金事業一覧表」

前年度末	960,308,684 円
増減	736,051 円（有価証券取得、貸付返済、事業費取崩）
当年度末残高	961,044,735 円

(8)小泉基金管理事業

故小泉由治郎福祉活動基金（小泉基金）

平成12年度に故小泉由治郎氏より受け入れた寄付金（60,033,310 円）については、事業準備積立金となっていたが、平塚市社会福祉基金管理委員会の決定を受け、社会福祉基金内に別基金として設置した。この基金は、次世代を担う青少年の福祉ボランティア意識の啓発を行うことを目的とした事業（ボランティア啓発育成事業）及び福祉の学びの場づくりの事業に活用する。

※事業の実績は、「Ⅲ-2-(4)小泉基金福祉活動助成事業」に掲載。

小泉基金残高	前年度末	46,100,517 円
	増減	1,811,250 円（事業費取崩）
	当年度末残高	44,289,267 円

(9) 高明基金管理事業

令和6年度に高明孝二氏より受け入れた寄付金（50,000,000 円）について、平塚市社会福祉基金管理委員会の決定を受け、社会福祉基金内に別基金として設置した。この基金は、市の障がい福祉の向上を図ることを目的とした事業に活用する。

ア. 障がい児等移送サービス事業

社会福祉基金の事業で運営する障がい児等移送サービスを高明基金の事業として運営（福祉車両購入費や維持管理費の支出）を行う。

高明基金残高	前年度末	0 円（初年度のため）
	増減	45,500,000 円（積立-事業費取崩）
	当年度末残高	45,500,000 円

(10)遺児等基金管理事業

ア. 交通遺児等福祉基金

交通遺児等の援護のために受け入れた寄付金については、基金に積立を行い、地方債で運用している。

区分	件数	寄付金額(円)	基金総額(円)
交通遺児等へ	4	260,907	64,442,958

イ. 善意の寄付金

寄付者の目的に沿うよう該当する事業の寄付金収益としている。

区分	件数	寄付金額(円)
福祉会館事業へ	1	30,000
車両寄贈指定寄付	1	9,380,000
その他	1	23,884
合計	3	9,433,884

(11)一般事業配分金事業

ア. 神奈川県共同募金会平塚市支会の運営

共同募金事業への協力のため支会事務局を担い、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

- ・ 常任委員会（定数15人）
開催日 7月16日(火)、3月13日(木)（書面開催）
- ・ 支会委員会（23地区の地区社協会長、自治会連絡協議会長、民児協会長ほか）
開催日 8月8日(木)
- ・ 支会監事監査（監事2人）
開催日 5月23日(木)

イ. 募金実績

種別	目標額(円)	実績額(円)	達成率
赤い羽根募金	19,000,000	17,588,226	92.56%
年末たすけあい募金	16,500,000	15,679,672	95.02%
合計	35,500,000	33,267,898	93.71%

ウ. 神奈川県福祉作文コンクール

県内の小・中学校合わせて149校4,576編の作品が寄せられた。

平塚市応募総数56編（内訳 小学生 2校 2編 中学生 3校 54編）

- ・ 小学生の部 入賞者なし
- ・ 中学生の部 入賞者なし

エ. 災害義援金

個人や団体からお預かりした義援金を併せ、該当の県共同募金会へ送金した。

- ・ 令和6年能登半島地震災害義援金 86,762円
- ・ 大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金 10,000円

オ. 一般事業配分金

社会福祉協議会として共同募金会から配分を受け事業を実施した

(12)年末たすけあい配分金事業

参考資料参照：別表2「年末たすけあい配分事業一覧表」

II. 老人福祉センター拠点区分

1. 老人福祉センター事業

(1)老人福祉センターの運営

ア. 福寿カード発行数（新規197件、更新84件、再発行16件）

- ・ 市内の福祉会館共通の福寿カードを発行した。

イ. 老人福祉センター等の利用状況

人数は延べ、（ ）はうち数

開館 日数	個人利用(人)			団体利用(人)		合計 (人)
	人数	入浴 利用人数	機能回復訓練室 及び教養室	利用団体数	人数	
296日	19,814	(10,726)	(1,614)	(112)	2,316	22,130

ウ. 健康相談 看護師を配置し、血圧測定等を実施 6,257人

エ. 指定管理事業

(ア) 囲碁ボール体験・モルック体験

囲碁ボール 24回 235人、モルック 12回 187人

(イ) 健康体操、輪踊り

10時頃とお昼休み後に利用者向けに健康体操と輪踊りを実施。

健康体操 4,965人 輪踊り 1174人

(ウ) 看護師のミニ講座 4回 参加者38人

4月26日(金) 4人 「さあご一緒につかまりスクワット」

8月8日(木) 8人 「風船バレー」

11月15日(金) 8人 「イスと一緒にスクワット運動」

1月23日(木) 3人 「懐メロダンス」

看護師ミニ講座に新企画としてネットを利用した、「懐メロダンス」を行いました。

(エ) 身体測定実施

5月1日間 6人、6月2日間 56人、9月2日間 31人、

12月2日間 59人、3月2日間 48人

(オ) 季節の行事

菖蒲湯 5月7日(火) 40人、柚子湯 12月21日(土) 53人

菖蒲湯などの他に七夕の短冊づくりやハロウィン、クリスマス、お正月、ひな祭りなど季節の飾りつけや季節の折り紙製作を行いました。

Ⅲ. 福社会館拠点区分

1. 小地域福祉活動支援事業

(1) 小地域福祉活動支援事業

ア. 地区担当制

地区担当職員が地域主催事業や会議に参加し、地域課題の情報収集を行った。

・参加回数 54回

イ. コミュニティ・ソーシャル・ワーカー活動(CSW)

制度の狭間や多様な福祉課題を抱えるなど、既存の制度や福祉サービスだけでは対応が難しい相談者の困りごとに対して、行政、関係機関、団体、地域等と連携し、相談者が必要とする支援につなぐ。

(ア) 個別支援

新規相談件数 173件

相談対応回数(電話、来所、訪問、メール等) 887回

カンファレンス、個別ケース会議への参加 13回

(イ) 地域支援

地域の会議等に出席 18回

地域課題解決に向けた取り組み

・大学、企業、地域包括支援センターと連携して団地のコミュニティづくりを

行った。

- ・地域と障がい者施設の見守り体制の構築に向けて、地域包括支援センターと連携して体制づくりを始めた。

(ウ) ネットワークづくり 3回

- ・支援者交流会

市民活動センターとの共催で、テーマに沿って、行政、事業所、市民活動団体地域の福祉関係者等、組織の形や分野を超えて支援者が集まり、課題を共有して、支援の連携の必要性を学んだ。

内容①「誰ひとり取り残さない地域づくりのために」

開催日 6月20日(木)

参加者 21団体22人

内容②「まると支援の必要性を学ぶ」

開催日 2月26日(水)

講師 (一社)全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事 又村あおい氏

参加者 29団体40人参加

- ・就労移行支援事業所との情報共有会

株式会社コルポート平塚との共催で、平塚市内の就労移行支援事業所が集まり、現在の状況と課題についての意見交換をした。

内容「診断がついていない人の支援について」

開催日 1月23日(木)

参加者 6団体13人参加

(エ) 広報啓発

- ・居宅介護支援連絡会 事例検討会

「ケアマネジャーだけでは解決できない問題・CSWとの連携」11月11日(月)

- ・東海大学健康学部ソーシャルワーク演習4授業(市川享子准教授)での講義

テーマ「地域づくり」11月15日(金)

(オ) 相談業務連絡会

相談業務に関わる部署の連携を強化し、相談体制を構築させる目的で2か月に1回、開催した。 定期開催 6回 延べ参加人数125人

(カ) 職員のスキルアップ研修(CSW業務) 10回

ウ. ふらっとカフェ(自主事業)

将来の不安や日ごろの悩みを話したり、ゲーム、読書、ちょっとした作業のお手伝いを通じて社会参加のきっかけを提供する場としてふらっとカフェを開設。必要に応じ、くらしサポート相談にて継続相談も行っている。

- ・福祉会館 第2水曜日の午後 開催12回 延べ参加者60人

- ・地域介護サービスセンター ラポール平塚(四之宮地区) 第3水曜日の午後
第3水曜日の午後 開催12回 延べ参加者51人

エ. 平塚市地域共生フォーラム

「相手も自分も大切に作るインクルーシブな地域づくり～地域共生社会を目指して～」

開催日 12月20日(金) 平塚市中央公民館 大ホール

講師 吉井 奈々氏

参加者 417人

(2)平塚市重層的支援体制整備事業への移行準備事業における参加支援事業及びアウトリーチ等を通じた継続的支援事業

令和8年度から本格実施される重層的支援体制整備事業への移行準備として「参加支援事業」及び「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を実施した。

(ア)参加支援事業

重層的支援会議（本人同意あり）で参加支援事業による支援が必要と判断されたケースがなかったため、相談受付及びプラン作成はなかった。今後、相談が増えていくことを想定し、複合化、複雑化した相談に対応できるような包括的支援体制構築の研修会を開催した。研修会には、高齢、障がい、子ども、就労に関する相談機関や病院、子どもの居場所や学習支援に取り組む市民活動団体、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員など多くの参加者が集まり、今必要とされている地域のつながりや、制度や分野を超えた連携の必要性を学んだ。

開催日 10月18日（金） 平塚市勤労会館 大会議室
内容 「重層的支援体制で地域の社会資源がつながりあおう」
講師 室田信一（東京都立大学 准教授）
参加者 50団体57人

(イ)アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

重層的支援会議（本人同意あり）でアウトリーチ等を通じた継続的支援が必要と判断されたケースがなかったため、相談受付及びプラン作成はなかった。今後、地域や医療機関、事業所等の支援関係機関から複合化、複雑化した課題を抱えながらも支援の届いていないケースの相談が入りやすいように、当該事業について説明し、広く周知を求めた。

就労移行支援事業所主催の支援者交流会への参加 3回
医療機関への訪問 5機関

(ウ)平塚市重層的支援体制庁内検討会議・部会への出席 6回
平塚市の重層的支援体制の整備にあたり、関係課長等による会議（庁内検討会議）と担当者による会議（庁内検討部会）に出席した。

(3)社明運動助成事業

青少年健全育成（年末募金配分）
社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

(4)在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への補助（年末募金配分）
横内プロジェクト 150,000円
カベラ日本語の会 100,000円
湘南JRC 100,000円

(5)地区社協活動支援事業

ア.地区社協部会 役員会及び会長連絡会議

- (ア) 役員会 (3回)
開催日 6月7日(金)会計監査含む、12月6日(金)、3月7日(金)
- (イ) 会長連絡会議(3回)
開催日 6月25日(火)、12月25日(水)、3月24日(月)
- (ウ) 検討会(0回)
災害時における平塚市社協(災害ボランティアセンター)と地区社協との連携に係る検討会
・実施なし

イ. 地区社協活動支援事業

(ア) 地区社協活動支援補助事業

地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

社会福祉基金	地区社協活動推進事業(23地区)	2,250,302円	4,484,162円
	高齢者等サロン開催費(21地区)	1,543,860円	
	地区ふれあい福祉相談事業費(23地区)	690,000円	
小泉基金福祉活動助成事業	福祉の学びの場(20地区実施)		1,000,000円
共同募金 赤い羽根募金	地区社協活動事業費(23地区)	1,575,181円	2,704,170円
	協力者育成事業費(23地区)	1,128,989円	
共同募金 年末募金配分	地区ふれあい広場助成(23地区)	1,656,000円	2,442,800円
	サロン事業実績地区助成(15地区)	786,800円	
	小計		10,631,132円
賛助会費還元金	賛助会費の75%を団体活動費助成金として23地区社協に還元		13,096,072円
	合計		23,727,204円

(イ) 地区社協活動育成支援事業

a. 研修事業

- ・地区社協部会ブロック別研修会
2月11日(火・祝日)災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加
14地区 40人
- ・平塚市地域共生フォーラムに参加
12月20日(金)

(6) 民児協支援事業

住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を促進する目的で助成を行った。

- ・実態把握活動費(年末募金配分) 2,768,000円

(7) 団体支援事業

ア. 平塚市自治会連絡協議会(年末募金配分)

共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成。 700,000円

イ. その他福祉関係団体へ活動費の補助を行った。(年末募金配分)

高齢者福祉	老人クラブ連合会事業費補助	90,000円
母子福祉	母子福祉なでしこ会事業費補助	36,000円
障がい児者福祉等	福祉当事者団体事業費補助 11団体	396,000円

平塚市障がい者団体連合会	36,000円	平塚市肢体障害者福祉協会	36,000円
--------------	---------	--------------	---------

平塚市視覚障害者協会	36,000 円	平塚市聴覚障害者協会	36,000 円
平塚市手をつなぐ育成会	36,000 円	平塚地区自閉症児・者親の会 平塚やまびこ会	36,000 円
平塚市腎友会	36,000 円	湘南あゆみ会	36,000 円
平塚市地域作業所連絡会	36,000 円	すばる	36,000 円
あおぞら里親会	36,000 円		

(8)地域活動支援センター等補助事業

- ア. 地域活動支援センター等利用者活動促進事業（社会福祉基金） 0 円
- イ. 地域活動支援センター等事業助成（年末募金配分） 1,470,906 円
- (ア)地域活動支援センターへの配分
（1 か所：上限 100,000 円） 15 か所 1,018,528 円
- (イ)グループホーム、ケアホームへの配分
（1 か所：上限 60,000 円） 5 か所 180,840 円
- (ウ)放課後等デイサービスへの配分
（1 か所：上限 35,000 円） 8 か所 271,538 円
- ウ. EEJA 株式会社から福祉向上のため車両寄贈を受け福祉施設へ配分
2 施設 社会福祉法人 小百合会 おあしす湘南 4,690,000 円
社会福祉法人 恵伸会 サンレジデンス湘南 4,690,000 円

(9)子育て支援育成事業

ア. 子育て支援事業等補助金交付事業

平塚市内で子育て支援を行っている団体等、また、これから行おうとする団体等に対し、地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。（赤い羽根募金配分事業）

19 団体 645,000 円

補助額	5,000 円	10,000 円	15,000 円	20,000 円	25,000 円
団体数	0	0	1	2	0
補助額	30,000 円	40,000 円	45,000 円	50,000 円	60,000 円
団体数	7	7	0	2	0

内 訳 ※下記は補助上限額

新規活動団体 （1 団体 15,000 円） 0 団体
廃止団体 0 団体

・ 1 回の子ども平均参加人数別

12 人未満 （1 団体 10,000 円） 15 団体
13～24 人 （1 団体 20,000 円） 4 団体
25 人以上 （1 団体 30,000 円） 2 団体

※コロナ禍で前年度の平均参加人数が減少しているため、引続き平均参加人数の基準を半数とした。

・ 年間事業実施回数別

10 回未満 （1 団体 10,000 円） 15 団体
10～19 回 （1 団体 20,000 円） 4 団体
20 回以上 （1 団体 30,000 円） 2 団体

イ. 子育て支援者交流会

開催日 1 月 17 日(金)_補講 2 月 21 日(金)
内 容 子育て応援団体！交流会

- ・講座「サロン向けSNS講座」
講師：子ども・子育て支援ネットワーク情報発信プロジェクト
小野氏・後藤氏

参加者 15人

- ・子育て応援団体冊子の作成と配布 2,000部
希望冊数が多い配布先には、手軽に「子育て応援団体冊子」が見られる二次元コードチラシを配布。

ウ. ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク事業（社会福祉基金事業）

子育て支援に関わるネットワークづくりを進めることを目的として、行政や子育て支援者等とネットワークづくりに向けての会議を開催した。

(ア) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会（2回）

行政、民間の委員を置き、当ネットワークのあり方や進め方などについて意見や提言を行った。

(イ) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク部会（4回）

子ども・子育て支援ネットワークの活動を具体的に推進し、推進委員会、各プロジェクト、交流会等の調整を行い、取り組み状況等を推進委員会に報告した。

(ウ) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク 各プロジェクト

a. 情報発信プロジェクト（4回）

子育て世帯や子育て支援者に有益な情報をSNS等にて適宜提供できるようにするためサロン団体に対して講座を開催。Webサイト管理運営等を実施した。

b. 交流会プロジェクト（8回）

子ども達をメインとした「あそびの森」を学・食Pと合同で11月16日(土)に大神公民館にて開催した。

c. 学習・食堂プロジェクト（8回）

周知及び協力者等を増やすため、関係者向けのつどいを開催し、またボランティア養成講座へ協力した。

d. アンケートプロジェクト（5回）

ひらつか子ども・子育て支援ネットワークPRのため、七夕まつりに参加し子どもたちの願い事を集めた。また飾りを作成した。アンケート結果に基づいたワークショップやカフェを開催した。

2. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

ア. ボランティアセンターの運営

開所日数 248日

ボランティアセンター運営委員会（定数11人・2回）

7月19日(金)、3月19日(水)

イ. ボランティアの相談斡旋

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアのニーズ調整を行った。〔 〕は前年度の実績

相談件数	569 件	[595 件]
派遣件数	400 件	[390 件]
派遣延べ人数	1,469 人	[1,149 人]
ボランティア登録人数		
個人	99 人	[123 人]
団体	96 団体	1,465 人 [89 団体 1,489 人]
登録人数	1,564 人	[1,612 人]

ウ. 広報啓発事業

- ・全国社会福祉協議会発行の冊子「ボランティア情報」を購入し、センター内で配架、地区社協へ配付をした。 1 2 回
- ・「ボランティア活動ガイド」を配付した。 2 3 冊
- ・FM湘南ナパサ、民間情報誌へボランティア講座の案内等の情報提供を行った。またSNSなどでボランティア募集を呼びかけた。
- ・ボランティアセンターのブログを通じ、学校で行っている福祉学習の実施状況、ボランティア講座の案内及び報告、ボランティア団体の紹介等を行った。
- ・ボランティアセンターの掲示板を活用し、ボランティア募集情報やボランティア講座のお知らせ、福祉学習を実施した小・中学校の児童・生徒からの感想文等を掲示した。
- ・ビデオライブラリーの整備
保有数 117 巻 (うちDVD 22 巻)
貸出 0 件

(2) ボランティア育成事業

ア. 福祉ボランティアスクール

市民を対象に社会福祉の意識啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的として開催。平塚ボランティア連絡会の協力を得て実施した。

開催日 10月24日～11月28日 毎週木曜日 全6回

- 内 容 ①「傾聴を体験してみよう」(神奈川県傾聴赤十字奉仕団)
②「視覚障がいの誘導を学ぼう」(平塚点訳赤十字奉仕団)
③「聴覚障がい者の理解をして手話を学ぼう」(平塚市聴覚障害者協会)
④「視覚障がい者の理解をして点字を学ぼう」(平塚点訳赤十字奉仕団)
⑤「聴覚障がいと要約筆記を学ぼう」(要約筆記サークル)
⑥「心肺蘇生法とAEDを学ぼう」(平塚市赤十字奉仕団)
「ボランティアグループの紹介」

受講者 10人 延べ48人

イ. 親子で福祉体験こどもスクール

夏休み期間を利用して様々な福祉体験を通し、高齢者・障がい者への理解と関心を深め、親子での参加を呼びかけ、親子で「福祉」について考えるきっかけづくりを目的として開催。

開催日 ①8月1日(木)、②8月2日(金)

- 内 容 ①手話体験 (平塚市聴覚障害者協会、平塚手話サークル七夕会)
②点字体験 (平塚点訳赤十字奉仕団)

受講者 8人 延べ 10人(親子4組)

ウ. サロンボランティア向け講座

サロンボランティア向け講座（地区社協・福祉村対象）

地区社協や町内福祉村で高齢者等へのサロンに関わる地域のボランティアを対象に、身近にできる健康づくりや地域で活用できるレクリエーション手法を学んでいただきそれぞれの地域で活用できることを目的として開催した。

開催日 10月3日(木)

会場 勤労会館 3階大会議室

内容 「地域で活用できるレクリエーションについて」

受講者 42人（地区社協、町内福祉村、地区ボランティアグループ）

エ. ボランティアのつどい

ボランティアセンターに登録する全てのボランティアが一堂に会し、情報交換や交流をする場として開催した。

開催日 1月18日(土)

会場 中央公民館 4階小ホール

内容 演芸ボランティア発表「大庭昌子さんの演奏」

情報交換「ボランティアをもっと盛り上げよう」及び交流会

参加数 62人

オ. 福祉学習指導者養成講座

市内小・中学校等で行われる福祉学習において、車いす体験や高齢者疑似体験の指導者となる方を養成した。市内在住で福祉施設で実務経験があり、介護の資格を有している方を対象として募集した。

開催日 11月13日(水)

講師 本会職員

受講者 2人 修了後2人登録

カ. こども食堂・学習支援講座

子ども食堂や学習支援団体を立ち上げたい人や協力したい人の参加に加え、取組み内容や課題等を広く市民等に理解していただくことを目的として開催した。子ども・子育て支援ネットワークの学習支援・子ども食堂プロジェクトチームの協力を得て実施し、1月25日(土)に開催された「学習支援・子ども食堂のつどい」につなげた。

開催日 11月29日(金)

内容 学習支援について（金田の寺子屋 井上勝博氏）

子ども食堂について（こひつじ食堂 平野健治氏）

受講者 7人

キ. 専門ボランティア養成講座（社会福祉基金事業）

ボランティアグループが専門性の高い内容の講習を行うことで、福祉を理解し実際の活動のきっかけとなることを目的とした。講座終了後は主催団体へ入会するなど専門ボランティアのすそ野を広げることができた。

(ア) 初心者向けボランティア養成講座を7団体で9講座を開催した。

助成額 334,000円

主催	講座	開催回数	参加者	延べ人数	助成額
平塚点訳 赤十字奉仕団	点訳 基礎講習会	5回	12人	54人	104,000円
	拡大 図書講習会	4回	5人	15人	
手話サークル	初心者	5回	12人	46人	38,000円

七夕会	手話講習会				
	初心者 手話講習会	5回	13人	60人	
手話サークル 平の会	初心者入門 手話講習会	8回	9人	66人	38,000円
要約筆記サー クルひらつか	手書き要約筆記入 門講習会	6回	11人	51人	48,000円
平塚音訳 赤十字奉仕団	録音図書作成のための 音訳初級講習会	5回	5人	19人	38,000円
神奈川県傾聴 赤十字奉仕団	傾聴ボランティア 養成講座	3回	31人	65人	30,000円
精神保健福祉ボラ ンティアグループ こんぺいとう	精神保健福祉ボラ ンティア養成講座	3回	14人	48人	38,000円

ク. 福祉学習、研修事業

高齢者や障がい者等への接し方を学び、福祉の心を育むため、小・中・高等学校、地区社協、地域ボランティアグループなどにボランティア活動や体験学習（車いす操作方法体験、高齢者疑似体験、点字体験、誘導法体験、手話体験、盲導犬への理解、視覚障がい者の講話、車いすバスケット体験、認知症サポーター養成講座、災害学習等）の講師等として協力した。

体験学習実施	学校数	人数	講師人数
小学校（対象数28校）	18校	5,043人	206人
中学校（中等教育学校も含む）（対象数16校）	9校	1,983人	135人
高等学校・特別支援校	3校	1,166人	34人
平塚市・専門学校・地域等（出張ボランティアスクール）	14件	1,272人	50人
合 計	44件	9,464人	425人

(ア) 福祉学習担当者説明会

市内小、中、高等学校、特別支援学校の福祉学習担当教員を対象に福祉学習の説明会を開催した。

開催日 6月28日(金)、7月31日(水)

参加者 17校

ケ. 点訳、音訳奉仕団助成事業（社会福祉基金事業）

平塚点訳赤十字奉仕団 助成額 85,000円

平塚音訳赤十字奉仕団 助成額 10,000円

コ. 視覚障がい者支援 音訳ライブラリー整備事業（社会福祉基金事業他）

70,000円

サ. ボランティア保険の取扱い

ボランティア活動保険 個人 58件 64人（うち被災地支援22件25人）

団体138件 2,336人

（うち被災地支援7件26人）

ボランティア行事用保険 123件 30,971人

送迎サービス補償 3件（個人0件 団体3件）

福祉サービス総合補償 4件

(3) ボランティアグループ助成事業

ア. ボランティアグループ活動助成（社会福祉基金事業）
 当年度実績 〔前年度実績〕
 38グループ（市域17・地域21） 37グループ（市域16・地域21）
 助成額 1,938,680円 1,850,680円

イ. 平塚ボランティア連絡会へ助成（社会福祉基金事業） 助成額 170,000円

ウ. ボランティアグループ等活動補助金説明会
 開催日 5月7日（火） 午前・午後の2回開催
 参加者 22人

(4)小泉基金福祉活動助成事業

ア. ボランティア啓発育成（小泉基金事業）
 助成学校数 合計18校
 内訳：小学校7・中学校（中等教育学校含む）8・高等学校2・特別支援学校1
 助成額 806,270円 〔前年度 600,690円〕

助成内訳

①学校・学年単位の助成	15件	453,123円
②テーマ・企画に対する助成	3件	103,200円
③学校と地域の連携事業助成	3件	249,947円

イ. 福祉の学びの場 1,000,000円
 実施地区社協 20地区 再掲

ウ. 教材購入費 175,780円
 ア～ウ合計 1,982,050円

(5)災害時ボランティア事業

ア. 災害支援に関わる事業

(ア) 災害ボランティアセンター設置

台風10号の影響により、災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアを受け入れ被災者のいち早い復興支援を行った。

設置期間 9月4日（水）～10月31日（木）

相談件数 14件

対応件数 12件

内 訳

①床上浸水 4件

②床下浸水 2件

③土砂崩れ 3件

④その他 3件

ボランティア延べ人数 172人

(イ) ボランティア養成講座（災害時編）

災害ボランティアとして必要な知識を学び災害発生時に活躍できる方、災害ボランティアセンターにて活動出来る方の養成を目指し開催した。

開催日 12月7日（土） 12月14日（土）

受講者 13人 延べ22人

(ウ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

関係団体、登録ボランティアを集めて設置運営訓練を行った。

内 容 災害ボランティアセンター設置運営訓練

開催日 2月11日(祝・火)
 参加者 113人(関係団体50人、地区社協部会40人、登録ボランティア23人)
 [前年度113人]

(エ) 外部への参加、協力

- ・平塚市総合防災訓練への参加
 開催日 10月26日(土)
 会場 平塚市総合公園平塚はらっぱ周辺
 内容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発、車いすでの搬送体験
- ・第14回ひらつな祭への参加
 開催日 3月9日(日)
 会場 紅谷パールロード、まちかど広場周辺
 内容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発
- ・他団体の訓練、フォーラム等へ参加
 防災ネットワーク推進に向けた防災座談会(ひらつか市民活動支援センター主催)
 開催日 9月29日(日)
 会場 ひらつか市民活動センター
 平塚市自主防災組織研修会(平塚市主催)
 災害時に平塚市社協と地区社協との連携について
 開催日 6月1日(土)
 会場 平塚市教育会館 3階

(6) 自主事業

ア. 企業、団体、個人の方から物品の寄付を受け、必要な施設等に配布した。

・寄付者

個人37件、社会福祉法人1件、公益社団法人1件、企業4件、NPO法人1件

寄付者	寄付物品
(公社)神奈川県下水道公社	非常食(アルファ米、缶入パン)
社会福祉法人神奈川県同胞援護会 平塚ふじみ園	野菜(玉ねぎ、じゃがいも)
平塚市聖苑運営管理共同事業体	非常用飲料水、非常食(缶パン)
アストロニクス(株)	タオル類
(株)ヴェレ	不織布マスク
NPO法人セカンドリーグ神奈川	不織布マスク
個人 37件	紙オムツ、リハビリパンツ、尿取りパット、靴、ティッシュ、毛糸、お米、食品等

・主な配分先

子ども食堂・学習支援団体、平塚市社会福祉協議会福祉施設部会、くらしサポート、平塚市福祉会館、子育て支援センター、町内福祉村

イ. 車いすの貸出

平塚市在住の方へ介護保険や障害者手帳の申請期間のつなぎ、病院の一時的な通院などのために車いすの貸出を行った。

保有台数		21台
貸出件数	延べ	176件
貸出日数	延べ	3,765日
利用料金	合計	58,500円

ウ. 啓発パネル・DVDの貸出し

地域福祉の推進を図るため、啓発用のパネルやDVDの貸出しを行った。

啓発パネル	1件	〔前年度実績 1件〕
DVD	6件	〔前年度実績 6件〕

(7)障がい児等移送サービス事業

ボランティアの協力による障がい児等移送サービス事業（社会福祉基金）

平塚市障がい者自立支援協議会において検討された何らかの理由で通学が困難な障がい児を対象に、運転ボランティアの協力による特別支援学校等への登下校の移送サービスを実施した。車両は、平塚市から譲渡された「ふくふく号」を使用した。

利用者	4人	（平塚支援学校1人、湘南支援学校3人）
延べ利用回数	499回	運転ボランティア5人で対応

3. 援護事業

(1)生計困難世帯援護事業

ア. 要援護世帯等の慰問金

夏期と年末に生計困難世帯に対して慰問金を贈呈した。

夏期慰問金（社会福祉基金）	金額	件数	計
1人世帯	5,000円	38世帯	190,000円
2人以上世帯	10,000円	365世帯	3,650,000円
合計		403世帯	3,840,000円
年末慰問金（年末募金配分）	金額	件数	計
1人世帯	5,000円	40世帯	200,000円
2人以上世帯	10,000円	366世帯	3,660,000円
合計		406世帯	3,860,000円

イ. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助、中学校卒業祝金（社会福祉基金）

生計困難世帯の小・中学校入学児童・生徒へ祝金と学生服の購入補助をした。なお、前年度に続き感染症の影響を考慮し祝金を10,000円増額した。

区分	祝金	被服購入費助成	人数	計
小学校入学	20,000円	10,000円	24人	720,000円
中学校入学	20,000円	20,000円	44人	1,760,000円
中学校卒業	20,000円		41人	820,000円
合計			109人	3,300,000円

ウ. 修学旅行等支度費補助（年末募金配分）

生計困難世帯の支援を目的として、小学6年生と中学3年生の修学旅行等支度費の一部を次のとおり助成した。

区分	支度費	人数	計
小学6年生	5,000円	27人	135,000円
中学3年生	10,000円	40人	400,000円
合計		67人	535,000円

(2)激励金見舞金支給事業

ア. 遺児等援護事業

(ア) 交通遺児等激励金（交通遺児等福祉基金）

交通事故のため保護者が死去、または重度障害を負った世帯の18歳以下の子に対し、
 激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児等に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	3世帯 5人	75,000円

(イ) 一般遺児激励金(年末募金配分)

病死等で保護者が死去した世帯の18歳以下の子に対し、激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	48世帯 68人	1,020,000円

(3)寝たきり高齢者等慰問事業(社会福祉基金)

在宅の寝たきり高齢者(要介護度4・5)及び、身体障害1・2級で在宅生活されている
 方対象に尿とりパッド・ウェットティッシュのセットを支給した。

年2回(8月 112人、2月 109人)計221人

(4)障がい児者支援事業

ア. 障がい児と保護者の慰安激励と交流を目的とし、「バレンタインデザートビューッ
 フェ!」をひとり親世帯支援事業と合わせて開催した。(赤い羽根募金配分事業)

開催日 2月15日(土)

場 所 ホテルサンライフガーデン 別館チャペルの棟サンガーデン

参加者 19人(10世帯)

イ. 福祉事業所合同説明会・見学会実行委員会の「福祉事業所一覧」発行費用として助成
 した。(赤い羽根募金配分) 100,000円

ウ. 視覚障がい者向けスマートフォン(ipone)サポーター講習会)

視覚障がい者がICT化に取り残されることを防ぐとともに、スマートフォンの操
 作を習得することで生活の質の向上を図ると共に使い方をアドバイスするサポーター
 を養成し相談できる環境づくりを目的とし開催した。

開催日 8月28日(水)

講 師 国立障害者リハビリテーションセンター

内 容 ①画面の読み上げ機能を用いてスマートフォン操作

②視覚障がい者に対する支援のポイント

受講者 7人

(5)点字図書購入費助成事業

ア. 点字図書購入費助成(社会福祉基金事業)

視覚障がい者(1・2級)に点字図書購入費の一部を助成した。 1件 13,000円

イ. 録音・点字図書等の貸出事業

視覚障がい者の教養娯楽に供するため、点訳・音訳赤十字奉仕団の協力により各種録音
 図書及び点字図書の作成をした。

・受入数	録音図書(デージー・CD)	17タイトル	17枚
	点字図書	16タイトル	47冊
・保有数	録音図書(デージー・CD)	316タイトル	324巻
	点字図書	428タイトル	1,639冊

※デイジーの貸出については、視覚障がい児者に限る。

・貸出状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出巻数
録音 CD デイジー	定期刊行物	943人	943巻 (内訳:声の広報 625、議会だより 64、 ラジオ深夜便 254、しおさい 0)
	図書(デイジー)	16人	32巻
	合 計	959人	975巻
点字図書	定期刊行物 (てんぴつ)	176人	176巻
	図 書	72人	232巻
	合 計	248人	408巻

(6)ひとり親世帯支援事業

ひとり親世帯の慰安激励と交流を目的とし、「バレンタインデザートビュッフェ！」を障がい児者世帯支援事業と合同で企画した。(赤い羽根募金配分事業)

開催日 2月15日(土)

場 所 ホテルサンライフガーデン 別館チャペルの棟サンガーデン

参加者 24人(8世帯)

(7)子ども貧困対策支援事業

食糧支援及び子ども食堂、学習支援の活動団体への補助金事業を実施した。

・市域の活動団体 2件 200,000円

・地域の活動団体 9件 450,000円

4.子育て援助活動支援事業

(1)ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児の支援を受けたい人で行いたい人を会員として組織化。支援活動を通じ、安心とゆとりをもって子育てができる環境を作ることを目的として実施した。

ア. 実施施設 福祉会館(ファミリー・サポート・センター)

イ. 開設日 242日 [前年度 243日]

ウ. 会員数

	当年度 会員証発行	前年度 会員証発行	会員数 年度末現在
延べ会員数	135人	138人	975人
支援会員	26人	15人	273人
依頼会員	109人	123人	688人
うち、支援会員と 依頼会員の両方の会員	0人	0人	14人

※上記「会員数」は、平成15年度からの累計数から退会者数を除いた人数。

※元気応援ポイント説明会に出席し、参加者へ支援会員について説明した。2人の支援会員講習会の参加につながった。

エ. 問合せ件数 延べ3,958件 [前年度 4,082件]

オ. 事前、顔合せ件数 延べ 171 件 [前年度 236 件]

カ. 活動件数 延べ 4,012 件 [前年度 3,475 件]

キ. 活動内容

	当年度	前年度
保育所・幼稚園への送迎及び預かりにかかる支援	1,989 件	1,586 件
小学校、学童保育等への送迎及び預かりにかかる支援	267 件	431 件
子どもの習い事等の場合の援助	773 件	864 件
保育所・学校等休み時の援助	21 件	28 件
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中等の場合の援助	280 件	191 件
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	0 件	1 件
保護者等の外出する場合の援助	7 件	65 件
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	118 件	63 件
他の子どもの世話や用事のための場合の援助	334 件	114 件
保護者等と一緒に子どもの援助	64 件	55 件
家事を済ませるための援助	29 件	34 件
保護者等の休息時の援助	20 件	5 件
放課後デイサービス	107 件	38 件
その他	3 件	0 件
合計	4,012 件	3,475 件

※「産褥期の援助」は支援できなくなったため支援項目変更

ク. 研修会等

(ア) 支援会員講習会

- 第 1 回 6月25日(火) 13人
- 6月28日(金) 10人
- 7月 1日(月) 10人
- 第 2 回 9月 9日(月) 8人
- 9月20日(金) 5人
- 第 3 回 12月 6日(金) 11人
- 12月 9日(月) 13人

(イ) 支援会員フォローアップ研修会「幼児救命講習」赤十字奉仕団

開催日 2月14日(金)
参加 支援会員 11人

(ウ) 支援会員交流会

「ベビーマッサージと座談会」

開催日 7月11日(木)
参加 支援会員 1人、依頼会員 13人(家族、子ども含む)

IV. 平塚栗原ホーム介護拠点区分

1. 日常生活自立支援事業

(1) 事業内容

認知症や知的・精神障がい等により、金銭や書類等の管理が難しい状況にある高齢者や障がい者等の権利を守り、安心して生活を送れるようにすることを目的として支援した。

(2) 相談援助活動

・ 問い合わせ、相談件数（総数） 2,668 件 [前年度 2,398 件]

	当年度	前年度
新規依頼相談（新規相談・新規継続相談）	228 件	227 件
日常生活自立支援事業に関するもの（利用者関係）	2,300 件	2,022 件
その他（来所相談・関係機関等からの問い合わせ等）	140 件	149 件

(3) 契約件数

・ 実利用者数（年度末時点） 77 人 [前年度末 91 人]
 内訳：新規契約 12 人 [前年度 15 人]
 解約・終了 25 人 [前年度 17 人] ※契約年度内解約 2 人

内訳 （年度内のべ契約件数）	①福祉サービス利用援助 ・ 日常的な金銭管理サービス	②書類等預かり サービス	契約件数
高齢者（虚弱、認知症等）	41 件 [44 件]	5 件 [4 件]	46 件 [48 件]
知的障がい者	14 件 [15 件]	4 件 [4 件]	18 件 [19 件]
精神障がい者	39 件 [38 件]	9 件 [9 件]	48 件 [47 件]
身体障がい者	6 件 [11 件]	0 件 [0 件]	6 件 [11 件]
その他	0 件 [0 件]	0 件 [0 件]	0 件 [0 件]
合計	100 件 [108 件]	18 件 [17 件]	118 件 [125 件]

※ [] は、前年度実績 ※件数は個人を単位としサービスごとに契約数を計上している。

(4) 訪問活動

ア. 専門員等の訪問調査活動 延べ 69 回

イ. 生活支援員の訪問及び活動 延べ 1,777 回 （※専門員代行分含む）

(5) 事務局内カンファレンス

ア. 開催件数 13 件 （契約 12 件・契約に至らず 1 件）

イ. 審査内容

項目	対象者						合計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	その他 ・不明		
内容	審査（契約・解約 ・ 支援計画等）	9 件	2 件	2 件	0 件	0 件	13 件

	相談・助言・その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	合計	9件	2件	2件	0件	0件	13件

2. 介護に関する入門的研修事業

(1) 入門的研修

神奈川県社会福祉協議会より受託し、介護に関する知識の習得と介護分野への参入のきっかけを作ることを目的に研修を開催した。

ア. 基礎講座

内容 「介護に関する基礎知識」「介護の基本」

開催日 12月3日(火)

講師 平塚市地域包括支援センターサンレジデンス湘南 管理者 保健師
平塚市地域包括支援センターふじみ 保健師

参加者 36人

イ. 入門講座

実施内容 「基本的な介護の方法」「障がいの理解」「認知症の理解」等

開催日 1月18日(土)、25日(土)、2月1日(土)、8日(土)

講師 ひらつか地域介護システム会議所属事業所のスタッフ等
地域包括支援センターのスタッフ

参加者 22人(うち修了者15人)

3. 特定相談支援事業

(1) 相談支援事業

ア. 障がい者等からの障がい福祉サービスなどの相談事業等を実施した。

・相談、調査件数

	当年度	前年度
電話相談	2,203件	2,321件
来所相談	38件	19件
ケアプラン作成訪問	440件	415件
サービス担当者会議	1件	17件
その他訪問	107件	73件
認定調査	22件	16件
合計	2,811件	2,861件

・計画作成件数

	当年度	前年度
平塚市	59件	67件
茅ヶ崎市	1件	3件
伊勢原市	1件	0件
横浜市中区	1件	1件
横浜南区	0件	0件
秦野市	0件	1件

三浦市	1件	1件
長崎県五島市	1件	1件
合計	64件	74件

・モニタリング作成件数

	当年度	前年度
平塚市	233件	255件
茅ヶ崎市	5件	4件
秦野市	0件	1件
横浜市南区	3件	4件
伊勢原市	2件	2件
三浦市	3件	0件
相模原市南区	1件	0件
五島市	1件	0件
合計	248件	266件

(2)平塚市子育て世帯訪問支援事業

ヤングケアラー等の支援ニーズの高い児童等がいる世帯に対し、訪問支援員が居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事または育児の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的に家事支援等を行った。

	当年度	前年度
支援内容	家事援助等	家事援助等
利用者数	2人	2人
利用回数(延べ)	31回	39回
利用時間(延べ)	62時間	54時間

4.生活介護事業

障害者総合支援法の利用者のサービス等利用計画に基づいて生活介護事業を実施した。利用者に対し送迎、食事や入浴（一般浴・特浴）の提供、レクリエーションを実施した。

(1)利用実績

・利用登録者数

内訳	当年度	前年度
区分3	2人	3人
区分4	6人	3人
区分5	2人	3人
区分6	26人	26人
合計	36人	35人

・利用人数

	当年度	前年度
人数(延べ)	3,281人	3,352人
1日平均	12.20人	12.41人
開所日数	269日	270日

(2)年間行事等

- ・季節の行事や創作活動を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	10月	ハロウィン、屋上散策 福祉展出展準備・出展・外出活動 地震避難訓練
4月	お花見散策、園芸活動、 〈創作〉壁飾り用桜の花制作	11月	秋のスポーツ大会、展示即売会準備
5月	お楽しみセレクト給食、園芸活動、屋上散策 〈創作〉こいのぼり制作、カーネーション作り	12月	ミニクリスマス準備・クリスマス会、ゆず湯、ハザードマップづくり、展示即売会出品・外出活動 〈創作〉成人式の飾り作り、正月用壁飾り作り
6月	夏の展示即売会出品準備・外出活動、屋上散策、園芸活動、七夕準備	1月	成人式、正月遊び、打楽器ワークショップ 〈創作〉成人式の飾り作り
7月	七夕飾り・短冊作り、初夏のスポーツ大会 〈創作〉スイカ作り	2月	節分豆まき、いちご狩り 〈創作〉ひな壇用梅作り
8月	ミニ夏祭り 〈創作〉壁面が制作	3月	火災避難訓練 〈創作〉ひな祭り工作、壁画飾り作
9月	ミニ運動会、福祉展作品作り		

- ・福祉事業所説明会へ参加 相談件数9件
- ・展示即売会へ出品
 - 6月27日(木)～6月28日(金)2日間
リボン、シュシュ、カード、リース、絞り染め手提げ
 - 12月11日(水)～12月13日(金)3日間
くりのすけカレンダー、くりのすけクリアファイル、クリスマスリース、クリスマスオーナメント、リボン、シュシュ、カード(クリスマス、バースディ)
- ・展示即売会外出活動
 - 6月27日(木)2人
 - 6月28日(金)2人
 - 12月11日(水)6人
 - 12月12日(木)2人
- ・社会福祉展へ出展
 - 10月17日(木)～10月21日(月)5日間 壁面画、だるま
- ・社会福祉展外出活動
 - 10月17日(木)2人
 - 10月18日(金)2人

(3)実習及びボランティアの受入れ

ア. 実習(職場体験)受入れ

受入日数 延べ25日

受入人数 延べ86人

・江陽中学校 1日間 2人
・県立平塚看護大学校 9日間 56人

	・湘南平塚看護専門学校	10日間	20人
	・東海大学	3日間	6人
	・神奈川福祉専門学校	2日間	2人
イ.	ボランティアの受入れ		
	受入日数	延べ165日	
	受入人数	延べ165人	
	・一般	66日間	66人
	・訪問マッサージ	56日間	56人
	・パソコン	42日間	42人
	・園芸	1日	1人

V. 豊田分庁舎拠点区分

1. 地域子育て支援拠点事業

(1) 子育て支援センター事業

子育て家庭の育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロン（交流の場）の運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域のニーズに応じて子育て支援関連機関との連携等により、育児支援を行った。

ア. 実施施設 豊田分庁舎（子育て支援センター）

イ. 開設日 242日〔前年度 242日〕

ウ. 利用状況

- ・利用総数 延べ12,363人（相談、視察等含む）〔前年度11,183人〕
- ・来所者 延べ11,977人（交流広場利用者数）〔前年度10,848人〕
- ・相談者数 延べ1,499人〔前年度1,877人〕
- ・育児相談延べ件数 延べ2,079件〔前年度2,118件〕
- ・育児相談の内容

分類項目	相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
a 基本的生活習慣 455件	睡眠	114件	食事	224件
	排泄	74件	着脱	4件
	清潔	27件	その他	12件
b 発育・発達 434件	運動	11件	身体の発育	99件
	言葉	92件	社会性	64件
	癖	15件	問題行動	118件
	その他	35件		
c 育児方法 305件	関わり方	196件	教育	14件
	健康	40件	育児不安	38件
	その他	17件		
d 生活環境 884件	友達	5件	きょうだい	47件
	家族	104件	夫婦	109件
	園・学校	413件	母の体調	113件
	その他	93件		

- エ. 活動内容
- ・ 出向、訪問等での相談 0件
 - ・ 相談以外の補完的援助 298件
 - ・ 関係機関との連携・協力等 4件
 - ・ グループ支援 4件
 - ・ 会議、研修、視察等の参加 18件
 - ・ わくわくタイム 9回
 - ・ スペシャルジョイフルタイム 12回
 - ・ わくわくデイ 6回
 - ・ おもちの病院 12回
- ※福祉村の拠点を借りて開催

VI. くらしサポート拠点区分

1. 生活支援事業

(1) 行旅人旅費支給事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

- ・旅費困窮者救護金(20件×300円、1件×600円) 合計 16,600円
- ・平塚市民病院対応(1件×10,000円)

(2) 日用品等支給事業

やむを得ない事情で生活が困難な市民に日用品及び食料品等を一時的に支給する事業

- ・乳児の養育に必要なものとして、粉ミルク・紙おむつ・おしり拭きを準備していたが、該当者がいなかった。今後の支援のため、食品等を購入して備蓄した。

支給 0件

(3) 生活支援事業

さまざまな生活上の困りごとをかかえている方を対象に、関係機関と連携しワンストップの相談体制を整え、問題の解決を図れるよう情報提供や社会資源の紹介をするとともに、適切な相談機関につないだ。

生活支援相談(月曜日～金曜日) 延べ 182件

(4) 災害見舞金支給事業

火災や水害で罹災した世帯に見舞金を支給した。

ア. 火災

	件数	県共募(たすけあい 福祉資金配分金)	市社協 (赤い羽根募金配分金)	合計
全焼(損)	3件	30,000円	30,000円	60,000円
半焼(損)	1件	5,000円	5,000円	10,000円
半壊	0件	0円	0円	0円
水損	1件		5,000円	5,000円
死亡	0件	0円	0円	0円
重症	0件	0円	0円	0円
合計	5件	35,000円	40,000円	75,000円

イ. 台風10号災害見舞金

	件数	県共募(たすけあい 福祉資金配分金)	市社協 (赤い羽根募金配分金)	合計
全壊	1件	10,000円	10,000円	20,000円
床上浸水	61件	305,000円	305,000円	610,000円
合計	62件	315,000円	315,000円	630,000円

2. 貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付

ア. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、高齢者、障がい者の世帯からの相談をうけ、自立更生、生活安定を図るためそれぞれに必要な助言・指導を行うと共に、申請の取り次ぎを行った。

・総合支援資金

種 類	件数 (件)	決定金額 (円)
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合 計	0	0

・福祉資金

種類	当年度	前年度
住居の移転等給排水設備等に必要経費	1 件 335,000 円	0 件 0 円
その他日常生活上一時的に必要な経費	5 件 516,000 円	5 件 402,000 円
技能習得費及び技能習得支度費	1 件 528,000 円	2 件 1,136,000 円
緊急小口資金	3 件 300,000 円	4 件 369,000 円
合計	10 件 1,679,000 円	11 件 1,907,000 円

・教育支援資金

種類	当年度	前年度
教育支援費及び就学支度費	16 件 7,642,000 円	19 件 10,527,000 円

・不動産担保型生活資金

	当年度	前年度
一般向け	0 件	0 件
要保護世帯向け	0 件	0 件

・生活福祉資金貸付調査委員会
未実施

イ. 臨時特例つなぎ資金貸付

解雇や雇い止め等により、住宅を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者等で、公的給付制度等の申請から決定までの生活費を有しない者に対し、生活に必要な費用の貸付けについての相談・申請支援を行う。

貸付件数 0 件 [前年度 0 件]

(2)一時貸付金

前年度貸付残高		259,000 円
当年度貸付金額	延べ 20 件	250,000 円
償還額	延べ 15 件	173,000 円(うち完済 15 件 173,000 円)
当年度未貸付残高		336,000 円
〔内訳〕		
1年以上経過貸付金		259,000 円
1年以内償還予定額		77,000 円

3. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援及び地域における自立、就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的に事業を実施した。

窓口名称を「くらしサポート相談」とし、平塚市役所本館1階福祉総務課内に設置した相談窓口にて、貸付事業や援護事業と連携し相談支援及び就労支援を行った。

また、令和4年9月末より特例貸付（総合支援資金）の貸付が終了してもなお失業や収入減が続く世帯への支援策として始まった自立支援給付金の相談及び受付を行った。

(1). くらしサポート相談(自立相談支援事業)の運営

ア. 事業の広報

生活困窮者自立支援制度普及広報用「生活困窮者への支援を行うくらしサポート相談にご相談ください。」のチラシ及びカードを市役所・福祉会館はじめ市内公園トイレ等に配架し周知に努めた。

イ. 会議への参加 2回

- ・ 10月4日（金） ホームレス自立支援に関する意見交換会
- ・ 3月6日（木） 平塚市内のホームレスが起居する施設管理者の情報交換

ウ. 関係機関からの要請による制度や相談窓口に関する説明等の実施 8回

- ・ 4月17日（水） 平塚市役所保健福祉研修
- ・ 4月22日（月） 平塚市社会福祉協議会相談連絡会研修
- ・ 7月 3日（水） 平塚市就労準備支援事業所はたらっく職員研修
- ・ 8月22日（木）（福）研水会居宅介護支援事業所職員合同研修
- ・ 10月11日（金） 平塚栗原ホーム居宅介護支援事業所職員研修
- ・ 10月30日（水） ひらつか地域介護システム会議居宅介護支援連絡会研修
- ・ 12月17日（火） 平塚地区保護司会合同研修会
- ・ 3月17日（月） 済生会湘南平塚病院職員研修会

(2)相談件数 []内は前年度件数

ア. 初回相談受付件数	309件 [247件]
イ. 継続相談件数	延べ 4,872件 [3,326件]
ウ. プラン作成数	初回プラン 139件 [72件] 再プラン 延べ 70件 [74件]
エ. 自立相談支援事業による就労支援	延べ 52件 [76件]
うち、就労支援による一般就労開始及び就労収入増加	28件 [29件]
オ. 住居確保給付金の支給対象者（新規支給決定件数）	8件 [7件]
カ. 訪問相談及び同行支援（アウトリーチ）	延べ 548件 [329件]
キ. ケース会議	延べ 43件 [22件]

(3) 支援調整会議

相談者（本人）と相談支援員の協働により作成したプランを基に目標や支援内容を協議し支援方針を共有した。

ア. 定期開催（平塚市）	12回	延べ 168件	対象者 115人
（就労準備支援事業）	12回	延べ 134件	対象者 16人

イ. 随時開催

認定就労訓練事業	0回	延べ 0件	対象者 0人	事業所見学 1件
一時生活自立支援事業	0回	延べ 0件	対象者 0人	
家計改善支援事業	49回	延べ 147人	対象者 37人	

(4) 生活困窮者自立相談支援事業連携機関連絡会

関係機関に平塚市における生活困窮者自立支援事業の取り組み状況を報告し、さらなる連携を促進するために各機関からのアンケートを踏まえて情報交換会を開催した。

開催日	3月25日(火)		
場所	平塚市保健センター 2階講堂		
参加数	関係機関 18ヶ所	参加者	20人
参加機関	平塚保健福祉事務所、平塚市高齢者よろず相談センター（8ヶ所）、医療機関（2ヶ所）、ライフサポート事業所（1ヶ所）、就労準備支援事業所（1か所）、認定就労訓練事業所（2ヶ所）、障がい者相談事業所（1ヶ所）、平塚市地域包括ケア推進課、平塚市社会福祉協議会 CSW		

(5) ホームレス巡回相談

生活困窮者自立支援法の趣旨及び理念を踏まえつつ、基本的に新法に基づく生活困窮者自立支援事業として巡回相談を実施した。

- ・巡回訪問件数 延べ 302件 実人数 44人
- ・巡回実施回数 定期巡回 24回 夜間巡回 1回
※うち4回は、済生会湘南平塚病院と合同巡回を実施
- ・緊急巡回回数 21回 緊急対応

(6) 食糧支援

何らかの理由で公的給付を受けることが困難な者や、緊急の支援を必要と認める者に対し、フードバンク湘南との連携による支援のほか、令和2年度より契約を交わしているフードバンクかながわからの食品や閉店したセブンイレブンの寄付品（神奈川県社会福祉協議会経由）など提供いただいた食糧を支援に役立てた。

- ・支援件数 延べ 126件（前年度 116件）

事業区分：公益事業

I. 福祉会館拠点区分

1. 介護者支援事業

(1) 元気応援ポイント事業

ア. ひらつか元気応援ポイント事業

管理機関として元気応援ポイント説明会を実施し、元気応援会員登録や手帳発行、交付金支給等の事業を実施した。

(ア) 説明会 原則毎月1回実施 合計 12回

開催場所：福祉会館、南部福祉会館、西部福祉会館、平塚市保健センター、金田公民館、岡崎公民館

(イ) 説明会参加者 延べ 70人

(ウ) 元気応援会員 新規 62人 手帳所持人数 165人

(エ) ポイント換金 89人 現金 254,300円
 元気応援セット 10,800円
 スターライトマネー 5,500円

(オ) 研修会

元気応援ポイント会員の介護予防につながる内容と元気応援活動者の活動紹介を行った。

a. 「元気応援活動にちょっと役立つ傾聴のお話」

開催日	開催場所	参加人数
7月29日(月)	福祉会館	30人

b. 「椅子ヨガで体すっきり、元気に健康アップ！」

開催日	開催場所	参加人数
12月11日(水)	福祉会館	19人

(2) 家族介護リフレッシュ事業

平塚市在住、在勤で自宅または入所先等で要介護1～5の家族を介護している方を対象に、視覚障がい者のあん摩・マッサージ師の有資格者による「腰痛肩こり予防プログラム」で介護疲れを解消していただいた。

開催場所	平塚市福祉会館	南部福祉会館	西部福祉会館	リフレッシュラザ	合計
開催回数	55回 〔52回〕	15回 〔15回〕	15回 〔15回〕	15回 〔14回〕	100回 〔96回〕
参加人数	349人 〔288人〕	76人 〔61人〕	99人 〔81人〕	52人 〔44人〕	576人 〔474人〕

講師人数	167人 〔140人〕	30人 〔29人〕	43人 〔41人〕	29人 〔25人〕	269人 〔235人〕
------	----------------	--------------	--------------	--------------	----------------

〔 〕は前年度の実績

※9月4日～10月31日まで台風10号による災害により「ひらつか災害ボランティアセンター」が設置されたため、予定をしていた会議室を他の会議室に移動した。9月6日は、ベッドの台数を4台から3台にして別の会議室で対応した。9月18日はベッドの台数を通常に戻し実施した。

Ⅱ. 平塚栗原ホーム拠点区分

1. 法人後見事業

(1) 事業内容

平成24年10月から成年後見人等として成年後見制度に基づく高齢者や障がい者等の身上保護や財産管理を本会が法人として担い、権利擁護を図ることを目的として法人後見事業（ひらつかあんしんセンター）を実施した。

(2) 相談援助活動

・問い合わせ、相談件数（総数） 1,185件 [前年度 591件]

	当年度	前年度
後見人等の依頼相談（ケース相談）	10件	3件
法人後見事業に関するもの（日常支援）	1,083件	544件
関係機関等からの問い合わせ等	92件	44件

(3) 受任件数、後見人等候補者依頼件数

ア. 受任件数（年度末時点） 41人

内 訳	後 見	保 佐	補 助	受任件数
認知症高齢者	24人 [21人]	4人 [3人]	1人 [1人]	29人 [25人]
知的障がい者	4人 [3人]	0人 [0人]	0人 [0人]	4人 [3人]
精神障がい者	7人 [6人]	1人 [1人]	0人 [0人]	8人 [7人]
合 計	35人 [30人]	5人 [4人]	1人 [1人]	41人 [35人]

※〔 〕は、前年度実績

イ. 後見人等候補者依頼件数 12件

（市長申立て依頼12件、本人申立て依頼0件、家族申立て依頼0件）

(4) 訪問活動

専門員等の訪問調査、活動（支援関係） 延べ 843回

(5) 法人後見事業審査会兼ひらつかあんしんセンターあり方検討委員会

ア. 開催回数 12回

イ. 審査内容（単位：件）

項 目	対象者	認知症	知的	精神	その他・	合計
		高齢者等	障がい者	障がい者	不明	
審査内容	審査（新規案件）	11件	1件	0件	0件	12件
	相談・助言（家裁案件）	32件	4件	9件	0件	45件
	終了（死去等）	3件	0件	0件	0件	3件
	その他	0件	0件	0件	3件	3件
審査合計		46件	5件	9件	3件	63件

審査依頼 12 件のうち 3 件は、債務整理が主業務、複数後見業務の必要性等の意見を付す。

(6) 市民後見人の養成

平成 26 年度から市民後見人としての受任を目指し、市民後見人養成講座（実践研修）を修了した者を、後見支援員として雇用した。

後見支援員 20 人

- ア. 後見支援員全体会（研修及び情報交換） 6 回
- イ. 後見支援員による支援活動 28 回

2. 居宅介護支援事業

(1) 事業内容

ケアマネジャーが利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し事業者や関係機関との連絡調整を行った。

ア. 開所時間 平日 8:30~17:00（夜間、土日祝日は 24 時間体制）

イ. 開所日数 243 日〔前年度 243 日〕

(2) ケアプラン作成等

高齢者等を対象に介護保険サービスなどの相談やケアプラン作成等を実施した。

ア. 相談、調査件数

内訳	当年度	前年度
電話相談	5,241 件	5,049 件
来所相談	69 件	45 件
ケアプラン作成訪問	1,899 件	2,324 件
申請代行訪問	75 件	89 件
その他訪問	749 件	674 件
サービス担当者会議	248 件	349 件
合計	8,281 件	8,530 件

イ. ケアプラン作成件数 年間延べ 要支援 106 件 要介護 1,861 件

内訳	当年度	前年度
要支援	106 件	251 件
要介護合計	1,861 件	2,319 件
要介護 1	474 件	614 件
要介護 2	567 件	710 件
要介護 3	317 件	507 件
要介護 4	249 件	274 件
要介護 5	254 件	214 件
合計	1,967 件	2,570 件

ウ. 要介護認定調査

内訳	当年度	前年度
平塚市より委託	67 件	109 件
市外より委託	1 件	13 件

(3)特定事業所としての活動

- ア. 加算会議（週1回）、定例会議の開催
 困難ケースの検討、制度やケアマネジメント技術の確認等を行った。
- イ. 市内居宅介護支援事業所合同研修会の開催 年3回
 他の事業者へ声掛けをして開催した。 参加 6事業所 延べ人数 31人
- ウ. 職員の外部研修会への参加
 ひらつか地域介護システム会議の居宅介護支援事業所連絡会や地域包括支援センター主催の事例検討会等に出席した。 年12回

3. 地域包括支援センター事業

（平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき）

(1) 事業内容

地域の高齢者が可能な限り自宅で日常生活を続けられるようにするため、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援し、地域包括ケアの実現を目的としている。

高齢者よろず相談センターゆりのきは、崇善地区と松原地区を担当し、地区内の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防等の必要な支援として、以下の事業を展開した。

(2)総合相談

ア. 相談形態

	当年度	前年度
来所相談	119件	54件
電話相談	1,369件	717件
訪問相談	394件	166件
メール	14件	—
その他	30件	18件
相談総数（延べ）	1,926件	955件

イ. 相談内容

内訳	当年度	前年度
介護保険	1,216件	663件
認知症（疑い）	201件	128件
精神疾患（疑い）	93件	32件
虐待（疑い） （高齢者虐待関係）	29件	0件
権利擁護関係	73件	6件
保健・医療	134件	69件
経済苦	41件	11件
行政サービス （在宅高齢者福祉サービス）	47件	12件
民間サービス	13件	—
高齢者調査	11件	4件

消費者問題	3件	1件
安否確認	31件	—
家族・介護者問題	2件	—
近隣問題	0件	—
重層（複合）	2件	—
障がい福祉サービス	—	1件
生活福祉サービス	—	2件
その他	30件	27件

※民間サービス、安否確認、家族・介護者問題、近隣問題、重層（複合）は令和6年度から新たに項目追加したもの。障がい福祉サービス、生活福祉サービスは、令和5年度までの項目であり、他項目に件数を移動した。

(3)居宅介護支援専門員への支援

・ 困難事例を抱える介護支援専門員への対応等	30件
・ 地域内ケアマネジャーとの交流会	2件
・ 地域内ケアマネジャーとの研修会	0件
・ 事例検討会	0件
・ 居宅介護支援事業所訪問	7件

(4)医療機関等訪問

ア. サポート医訪問	7件
上記以外ケースを通じて医療機関を訪問	48件
イ. 在宅支援拠点薬局訪問	9件

(5)地域ケア会議、個別ケア会議

ア. 地域ケア会議	8回
※松原地区は地域ケア会議と協議体会議を一体化して開催	
イ. 個別ケア会議	1回
※ケースカンファレンスは35回開催	

(6)担当地域内の各種会議等の出席状況

ア. 地区民生委員児童委員協議会定例会	5回
イ. 地区社協定例理事会	0回
ウ. 町内福祉村定例理事会（協議体含む）	0回
エ. 地域包括支援センター連絡会	74回（書面、オンラインを含む）
（管理者連絡会、地域支援担当者連絡会、主任ケアマネ連絡会、介護予防事業連絡会、認知症地域支援推進員等）	
オ. 地域のインフォーマルサービス関係	24回
（地域のサロン等含む）	
カ. 事業所運営推進会議	9回

(7)ゆりのき予防サロン

- ・開催数 32回 参加者延べ 665人
- ※令和2年4月から、ゆりのきサロンとゆりのき介護予防教室を一体的に実施

(8)認知症サポーター養成講座

一般向けの講座以外に金融機関や崇善地区社協からの依頼で認知症サポーター養成講座を実施した。

ア. 認知症サポーター養成講座

- ・開催数 4回 参加者延べ 75人

イ. 認知症サポーター上級研修

- ・開催 1回 参加者 20人

(9)ゆりのきオレンジカフェ（認知症カフェ）

- ・開催数 6回 参加者延べ 44人

(10)ゆりのき通信の発行

- ・発行回数 3回
(崇善・松原地区自治会加入世帯への回覧、医療機関・薬局・公民館等への配布)

(11)民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会

- ・開催数 2回 参加者延べ 39人

(12)実習生の受け入れ、演習・研修対応

- ・受け入れ 4校 延べ24人
神奈川社会福祉専門学校（3日間）
東海大学（3日間）
国際医療福祉大学（6日間）
平塚看護大学校（5日間）

(13)介護予防支援事業所業務

ア. 介護予防ケアプラン

	当年度	前年度
予防給付 (給付管理実績)	2,921件 (うち委託373件)	2,792件 (うち委託471件)

- イ. サービス担当者会議（委託分含む） 273回〔209回〕

- ウ. 介護認定調査件数 17件〔28件〕

(14)職員のスキルアップ研修

50回 延べ78人

- ・平塚市や県の地域包括支援センター職種別研修会
- ・精神科受診のタイミングと治療

4. 成年後見制度利用支援事業

(1) 事業内容

判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として事業を実施した。

(2) センターの運営状況

- ア. 開所日数 252日（土曜開所日 12日を含む）〔前年度 252日〕
- イ. 普及宣伝
 - ・福祉だよりひらつかにて広報した。
 - ・「平塚後見センターよりそい開設10周年を迎えます」として制度・センター・記念講演の案内をした。
- ウ. 会議等
 - ・平塚市成年後見支援ネットワーク連絡会（29 団体・機関等） 2回
- エ. 企画運営会議 4回
- オ. ケース検討調整会議 11回

(3) 成年後見制度の相談

ア. 相談件数

	当年度	前年度
初回相談件数	283 件 (内訳:電話 241 件、来所 42 件)	273 件
継続相談件数	670 件 (内訳:電話 477 件、来所 193 件)	818 件

- イ. 専門相談
 - ・弁護士による専門相談 12回

(4) 親族後見人等の後見活動の支援

申立を考えている親族の方や、すでに親族後見人になっている方に対して、セミナー講習会・交流会を開催した。

- ア. 親族後見予習セミナー 2回 計32人参加
- イ. 親族後見人講習会・交流会 2回 計30人参加

(5) 市民後見人の養成、活動

- ア. 平塚市権利擁護人材育成講座・市民後見人養成講座
 - ・第九期基礎研修 全4日間 受講者12人 修了者12人
- イ. 後見サポーター（後見支援員・第一期～第八期）活動支援等

- ・後見サポーター全体会（研修及び情報交換） 6回
- ・市民後見人フォローアップ研修 2回

(6) 成年後見業務に係る関係機関との連携及び情報提供

家庭裁判所、行政機関、県社協、近隣市町社協等と連携し体制整備を行うとともに、成年後見制度の利用推進を図った。

- ・湘南西部成年後見制度利用支援連絡会 2回 計29人
- ・成年後見制度の利用促進に関する連絡・調整会議（県・県社協主催）
1回 50人参加
- ・出張講座（市民・企業等向け） 20件 受講者延べ人数 457人

5. 高齢者権利擁護応急的事務管理事業

(1) 応急的事務管理事業

判断能力が低下し、財産を管理することが困難となった高齢者に対し、生命、健康及び財産の保護を図るため、成年後見人等が選任され法定代理人が財産の管理をするまでの間、事務管理として実施する費用の立替えを行う。平成28年度から事業を開始。

ア. 応急事務管理会議全体会議

応急的事務管理について、その実施の可否及び方針について意見を聴くための委員を定め、会議を開いた。

- ・1月31日(金) 委員 弁護士4人、社会福祉士3人

イ. 応急的事務管理個別会議

応急的な事務管理の利用について意見を聴くための会議を開いた。

- ・4月23日(火) 委員 弁護士1人、社会福祉士1人

ウ. 応急的立替払いの実績

市長申立て決定案件（1人）に対し、金融機関口座の取り扱いができない状況であったことにより、後見人が選任されるまでの期間、医療費及び食費、日用品費の立替を実施した。

当年度貸付額	32,057円
当年度償還額	32,057円
当年度未立替残高	0円

6. 在宅医療・介護連携推進事業

「地域包括ケアシステム」の一環として、高齢者等が医療と介護が必要となる状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を営むことができるよう、「医療」と「介護」の連携を促進していくための窓口となることを目的として事業を実施した。

(1) 平塚市在宅医療・介護連携支援センターの運営

ア. 開所日数 243日 [前年度245]

イ. 定例会議

平塚市医師会、平塚市地域包括ケア推進課との3者で毎月1回定例会議を開催し、企画の立案、情報の共有、意見交換等を行った。

12回(4月のみ対面開催。オンライン開催)

ウ. 平塚市在宅医療介護連携推進協議会で相談・研修開催等の報告を行った。

延べ3回出席 オンライン出席

エ. 各種会議への出席

システム会議サービス向上検討部会出席

延べ6回出席

在宅介護サポート事業 ワーキング会議

延べ1回出席

(2)地域の医療・介護の資源の把握

ア. ひらつか介護サービス(医療対応)一覧を作成

製本せずに平塚市在宅医療・介護連携支援センターのホームページに掲載。医療機関、平塚市医師会、平塚歯科医師会、平塚中郡薬剤師会、介護サービス事業所、平塚市高齢者よろず相談センター等に案内し公開した。

イ. 介護タクシー福祉有償運送情報一覧を作成

配布先: 医療機関(12病院)、公民館、平塚市高齢者よろず相談センター(13か所)等

ウ. 平塚市在宅医療・介護連携支援センターホームページの運用

<https://hmc-renkei.jp/>

・セッション数 ユーザーのWebサイト訪問回数をGoogleアナリティクスで集計
4,047回 [前年度3,924回]

エ. SNS(Facebook)運用

(3)在宅医療・介護関係者に関する相談支援件数

相談対応回数(延べ数)

相談者内訳	当年度	前年度
病院	26件	21件
診療所	23件	14件
高齢者よろず相談センター	47件	89件
ケアマネジャー	39件	41件
薬局	10件	3件
訪問看護	4件	10件
市民	14件	14件
行政	21件	16件
介護事業所	25件	22件
その他	48件	56件
合計	257件	286件

相談項目別数（延べ数）

相談項目内訳	当年度	前年度
入退院連携	4 件	8 件
かかりつけ医・往診医の紹介	16 件	11 件
医療資源（専門医、歯科医、薬局）	30 件	52 件
社会資源	29 件	33 件
医療介護に関する用語	1 件	3 件
訪問看護（訪問内容、空き状況等）	1 件	4 件
ケアマネジャー	2 件	6 件
介護サービス	11 件	18 件
医療・介護関係者の研修	7 件	15 件
地域住民への啓発	4 件	7 件
困難事例の支援	6 件	25 件
その他	34 件	23 件
合 計	145 件	205 件

(4)研修及び普及啓発

- ア. 医療・介護関係者の研修 11件 延べ参加人数 405人
「変わる病院機能と救急車適正利用について」「脳血管疾患患者さまの療養支援について」「施設看取りのケアプラン」等
- イ. 地域住民への普及啓発 6件 延べ参加人数 221人
「住み慣れた住まいでいつまでも暮らすために知っておきたい医療と救急」等
- ウ. センター職員自主研修 19件 延べ参加人数 22人
- エ. 訪問診療についての動画を作成し配信した。

7. システム会議運営事業

本会が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として運営した。

(1)ひらつか地域介護システム会議

- ア. 総会 1回
- イ. 幹事会 2回
- ウ. 会計監査 1回
- エ. 介護情報推進部会 0回
- オ. サービス向上検討部会 6回

(2)事業別連絡会(38回)

ア. 居宅介護支援連絡会	8回 (うち1回オンライン)
イ. 訪問介護連絡会	1回
ウ. 訪問入浴連絡会	(休止)
エ. 訪問看護連絡会	6回
オ. 通所サービス連絡会	5回 (うち3回オンライン)
カ. 福祉用具・住宅改修連絡会	6回
キ. 介護保険施設連絡会	(休止)
ク. グループホーム連絡会	6回
ケ. 小規模多機能連絡会	6回

※グループホーム連絡会と小規模多機能連絡会については合同開催として実施

(3)ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

ア. 全体イベント	0回
イ. 居宅介護支援連絡会	8回 (うち1回オンライン)
ケアマネサロン	4回
ウ. 訪問介護連絡会	0回
エ. 訪問入浴連絡会	(休止)
オ. 訪問看護連絡会	1回 (オンライン)
カ. 通所サービス連絡会	2回
キ. 福祉用具・住宅改修連絡会	3回
・平塚市防災フェア参加・出展	
・福祉用具 他連絡会研修会 実施	
ク. 介護保険施設連絡会	(休止)
ケ. グループホーム連絡会	1回
『注文をまちがえる陽だまりのレストラン』	
実行委員会	11回
コ. 小規模多機能連絡会	1回
『注文をまちがえる陽だまりのレストラン』	
実行委員会	11回

(4)ホームページの運営

ひらつか地域介護システム会議（ひらのすけ）

<https://www.hiranosuke.jp>

事業区分：収益事業

I. 福社会館指定管理拠点区分

1. 福社会館運営事業

(1) 管理運営事業

指定管理者制度における平塚市福社会館の管理運営を行った。また高齢者及び障がい者等の福祉の増進と生活向上のための各種事業を行った。

ア. 会議室等の利用状況

高齢者、障がい者、福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため生活支援等、各種相談の場を提供した。

開館日数 313日 [前年度 317日]

利用状況 延べ 29,868人 [前年度 30,231人]

	当年度	前年度		当年度	前年度
第一会議室	5,252人	5,460人	集会室	1,338人	2,140人
第二会議室	9,396人	9,095人	身障判定室	0人	0人
第三会議室	6,121人	5,401人	料理講習室	615人	761人
第四会議室	2,948人	3,072人	B相談室	1,002人	1,061人
奉仕活動室	1,612人	1,494人	C相談室	401人	503人
身障いこい室	759人	747人	D相談室	424人	497人

イ. 障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

利用状況 延べ 3,909人 [前年度 3,169人]

	当年度	前年度
点訳奉仕室	1,574人	1,576人
図書室	217人	224人
録音奉仕室	410人	418人
ボランティア活動室	1708人	951人

ウ. おもちゃば〜く

子育て支援とボランティアの育成、交流の場として集会室で実施した。

開催 33回 (第1・第2・第3金曜日午前) [前年度 32回]

利用者 354人 162組 [前年度 262人 118組]

エ. 広報活動

福社会館のホームページやX(旧ツイッター)にて情報の提供を行うほか「福社会館だより」を年3回発行し、福社会館で配布し利用者へ情報提供した。

(2) 高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者健康・教養講座や福祉会館まつりを実施した。

ア. 講座開催

講座	定員	回数	参加者数	延べ受講人数
災害時にできる食事対策	20人	1回	6人	6人
男の料理教室	8人	2回	9人	9人
スマホの使い方相談会	4人	6回	24人	24人
自分でできる腰痛対策	9人	2回	14人	14人
初めてのスマホ体験講座	10人	6回	26人	26人
高齢者のための相続講座	30人	3回	60人	60人
優しいヨガ講座	9人	4回	27人	27人
ふれあいカラオケ大会	20人	2回	38人	38人
高齢者のためのスマホ講座	10人	8回	76人	76人
サククス&ピアノジョイントコンサート	50人	1回	41人	41人
フットコンデショニング	25人	2回	40人	40人
大人女性のためのパーソナルビューティー講座	20人	2回	35人	35人
健康のためのフラダンス講座	10人	1回	9人	9人
みんなで歌おう演奏会	50人	1回	52人	52人
今から始める終活～自分らしい人生の準備～	30人	1回	40人	40人
高齢者のための低栄養予防講座	20人	1回	36人	36人
歌って楽しむ音楽会とマジック	50人	1回	31人	31人
『マンドリンアンサンブル「やよい」2024春のコンサート』	50人	1回	54人	54人
「優しいヨガ講座」※	9人	4回	27人	27人
合計	434人	49回	645人	645人

※は、障がい者も参加対象な講座

イ. 福祉会館まつり

10月18日(金)・19日(土)の2日間開催

- ・入館者：1,980人〔前年度2,009人〕
- ・催物団体：21団体（3階大広間）
発表内容：落語、日本舞踊、音楽演奏、コーラス、リズム体操、フラダンス、マジック、詩吟、カラオケ、お遊戯他
- ・展示団体：11団体（1階、2階ボランティア活動室）
展示内容：手芸、水彩画、書道、絵手紙、写真、各種作品、活動案内他
- ・販売団体：4団体（1階ロビー）
平塚市障がい者団体連合会（手をつなぐ育成会・湘南あゆみ会）
地域作業所連絡会（地域活動支援センターひのき・山晃央園）

ウ. 利用者による園芸ボランティア 合計11日 参加者延べ25人

エ. 視察、実習等の受け入れ

神奈川県立平塚看護大学校 6月12日(水)、13日(木)延べ学生20人

(3)利用者の声

利用者の方々の意見や要望等を伺うために、利用者アンケートや利用者懇談会を行った。寄せられた意見や要望については、その内容や時期について検討した。

ア. 利用者、利用団体へアンケートを実施

期 間：11月13日(水)～11月29日(金)

対象者：福祉会館会議室及び老人福祉センター利用者 654人回答

・利用時間について、ネット予約について、2階廊下に点字ブロックを設置してほしい等のご意見があった。

イ. 福祉会館に関する意見（市長への手紙・市民の声等）0件

ウ. 利用者懇談会

(ア) 会議室等利用団体との懇親会

3月12日(水)利用団体の老人クラブ、平塚市障がい者団体連合会、平塚ボランティア連絡会との懇談会を実施

福祉会館利用にあたり、課題や問題点の情報交換を行った。

・会議室利用時間の変更を以前の形（1日3コマ）に戻してほしい

(イ) 老人福祉センター利用者から意見聴取

3月1日(土)3階利用者の方に聞き取り方式で意見を伺う。回答66件

「カラオケやマイクの音がよくない。」「無料にしてほしい」といった意見があったが、概ねの方からは、利用者同士の交流や会話を楽しみに来館しており、今後も利用を続けていきたいとの意見があった。

Ⅱ. 平塚栗原ホーム指定管理拠点区分

1. 平塚栗原ホーム運営事業

(1)管理運営事業

平塚市から指定管理者の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

ア. 会議室貸出実績

〔〕は前年度

	回数	利用人数
大会議室	199回〔224回〕	2,815人〔3,222人〕
小会議室	31回〔75回〕	161人〔334人〕
その他の会議室	93回〔102回〕	706人〔672人〕
合計	323回〔401回〕	3,682人〔4,228人〕

※主な利用団体 高齢者団体、障がい者団体、福祉関係団体

1. 社会福祉基金事業一覧表

別表1-①

令和6年度平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

サービス区分	基金事業名	予算額	決算額	差異	備考
団体支援事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	4,485,000	4,484,162	838	23地区社協活動費 自治会加入加算 地区ふれあい福祉相談事業 高齢者等サロン事業
	地域活動支援センター利用者活動促進事業	600,000	0	600,000	申請1件ありだが、非該当
ボランティア活動支援事業	①一般市民向けボランティア養成講座等	150,000	104,175	45,825	各種ボランティア養成講座、出張の講座経費等
	②専門ボランティア養成講座等	421,000	334,000	87,000	点訳講習会 手話講習会①、手話講習会② 要約筆記講習会 音訳講習会 傾聴ボランティア養成講座 精神保健福祉ボランティア養成講座 視覚障がい者スマートフォンサポーター講習会 中途失明者対象点字講座
	音訳ライブラリー整備事業	50,000	70,000	△ 20,000	音訳ライブラリー運営経費
	ボランティアグループ活動費助成	2,000,000	1,949,405	50,595	グループ助成 38団体（市域17、地域21） 手数料含む
	点訳・音訳奉仕団事業助成	95,000	95,000	0	点訳赤十字奉仕団 85,000円 音訳赤十字奉仕団 10,000円
	ボランティア連絡会助成	170,000	170,000	0	広報紙等の発行費用、研修会経費等
	災害ボランティアネットワークセンターの整備費用	0	0	0	センター運営資材等
緊急援護事業	緊急援護事業	40,000	16,600	23,400	旅費困窮者に300円支給 緊急を要する場合の飲食物品、被服等の支給
在宅援護事業	低所得世帯の慰問活動（夏期）	4,030,000	3,840,000	190,000	1人世帯@5,000円×38世帯 2人以上世帯@10,000円×365
	入学卒業祝金等支給事業	3,750,000	3,300,000	450,000	①低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給 小@20,000円×68人=1,360,000円 ②低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成 小男女@10,000円×24件=240,000円 中男女@20,000円×44件=880,000円 ③低所得世帯生徒の中学校卒業祝金支給 中学3年@20,000円×41件=820,000円
	寝たきり高齢者等慰問事業	156,000	139,080	16,920	1回目 111人、2回目 109人 計 220人
障がい者福祉事業	点字図書購入費助成	30,000	13,275	16,725	1件（上限1人30,000円）
	移送サービス事業	485,000	115,432	369,568	特別支援学校等送迎 利用者=4人、延べ利用回数=499回 運転ボランティア=5人登録
子ども家庭福祉事業	子育て支援ネットワーク事業	451,000	402,937	48,063	委員旅費、講師謝礼、通信運搬費、チラシ作成
	子ども貧困対策支援事業	710,000	658,580	51,420	市域活動団体 100,000円×2件=200,000円 地域活動団体 50,000円×9件=450,000円 振込手数料3,630円 切手代4,950円
貸付事業	高齢者権利擁護応急的事務管理事業	0	0	0	平成28年度に原資として300万円拠出済み
合計		17,623,000	15,692,646	1,930,354	

別表1-②

令和6年度 平塚市社会福祉基金 拠出項目管理

(単位 円)

項目	期首	増加	減少	期末残高	説明
高齢者権利擁護 応急の事務管理事業	3,000,000	32,057	32,057	3,000,000	平成28年度に原資拠出
事業資金貸付	6,154,554	0	1,518,932	4,635,622	平成29年度に平塚栗原ホム事業資金を貸付

2. 年末たすけあい配分事業一覧表

令和6年度配分結果

(単位 円)

区分	配分内容	件数	金額
在宅 援護 事業	生計困難世帯に年末慰問金 (1人世帯 5,000円 2人以上世帯 10,000円)を配分	406世帯	3,860,000
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1人15,000円)を配分	児童数68人	1,020,000
	修学旅行支度費 (小学生5,000円 中学生10,000円)を配分	67人 (小学生27人/ 中学生40人)	535,000
	小 計		
地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー 等 補 助 事 業	地域活動支援センターの事業運営に対して配分 1か所あたり 上限100,000円	15か所	1,018,528
	障がい者グループホーム・ケアホームの事業運営等に配分 1か所あたり 上限60,000円	5か所	180,840
	障がい児学童保育事業の運営等に配分 1か所あたり 上限35,000円	8か所	271,538
	小 計		
団 体 支 援 事 業	地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費(三世代交流事業) として配分 1地区あたり上限72,000円23地区計1,656,000円	23地区社協	2,442,800
	サロン開催事業費(15地区) 786,800円	15地区社協	
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	2,768,000
	在住外国人共生事業 支援団体へ事業費として配分	3か所	350,000
	福祉団体等へ補助金として配分 平塚市自治会連絡協議会 700,000円 社会を明るくする運動実行委員会 180,000円 平塚市母子福祉なでこ会 36,000円 平塚市老人クラブ連合会 90,000円 福祉当事者団体 36,000円×11団体	15団体	1,402,000
	小 計		
調査研究 企画広報	広報啓発、法人運営事業		1,096,000
事務費			23,888
合 計			14,968,594